



受験生のための大学案内

CAMPUS GUIDE FOR PROSPECTIVE STUDENTS

2021-2022

無限の可能性、ここが最先端

—Outgrow your limits—



国立大学法人

奈良先端科学技術大学院大学

NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY

限りなき未知への探究

～最先端は奈良先端大から～

インターネット、マルチメディア、クローン、ゲノム、ナノテクノロジー…

これらは、例えば20年前には一般の人が耳にすることもなかった用語。

—ここ10数年における科学技術の進展には目を見張るものがあります。

本学は、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学を基盤とした

“最先端”分野を学べる大学院大学。

最新のテクノロジーに対応した設備と実績豊かな教授陣を整えることにより、

輝かしい成果を挙げる一方、産業界にも優秀な研究者・技術者を輩出し続けていま

す。また、情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3つの分野を相互に関連

する学問としてとらえた、総合的・体系的な教育にも力を入れています。

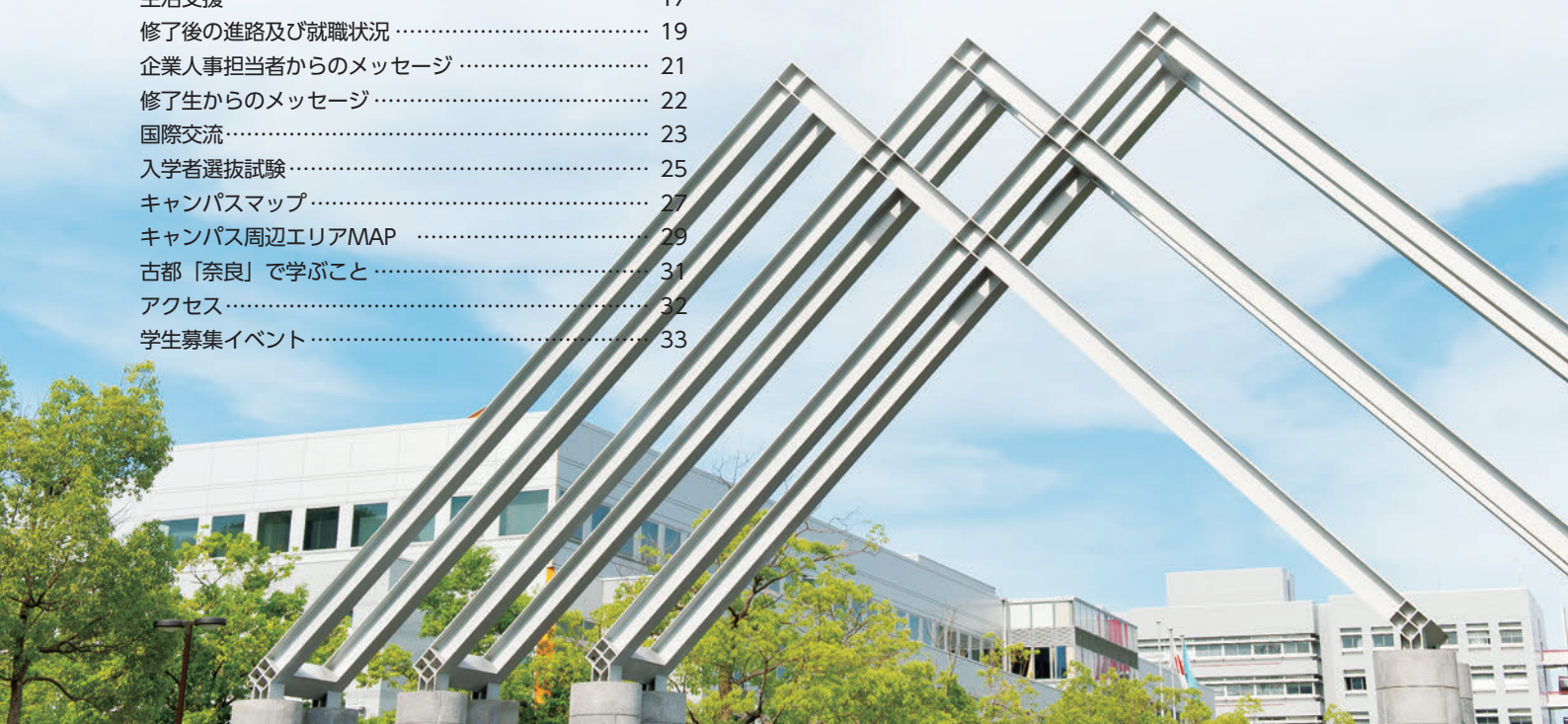
これからも「先端」の名にふさわしく、科学技術の発展に貢献しながら、次世代に活躍できる人材を育成していきます。

CONTENTS

学長メッセージ	2
目的／育成する人材像／アドミッション・ポリシー	3
先端科学技術研究科の特色	4
7つの教育プログラム	5
博士前期課程の教育課程	7
博士後期課程の教育課程	8
学生数及び学位授与状況	9
先輩からのメッセージ	10

大学情報

学習環境	13
経済支援	15
生活支援	17
修了後の進路及び就職状況	19
企業人事担当者からのメッセージ	21
修了生からのメッセージ	22
国際交流	23
入学者選抜試験	25
キャンパスマップ	27
キャンパス周辺エリアMAP	29
古都「奈良」で学ぶこと	31
アクセス	32
学生募集イベント	33





受験生の皆さんへ 「自分を研ぎすまし、究める」

学長 塩崎 一裕

大学院での学びは、皆さんがこれまでに受けてきた教育、すなわち授業を受けて理解度を試験で評価されることが中心の教育とはかなり違ったものと言ってよいでしょう。修士課程（博士前期課程）では2年、博士課程（博士後期課程）では3年という期間にわたって自ら研究に取り組む中で、問題・課題の発見や解決に必要な多面的な知識とスキルを身につけるのが大学院です。そして、そのための最高の環境を提供できるのが、学部を置かない大学院大学である奈良先端大です。

大学院では研究そのものが教育の場となりますから、奈良先端大ではその創設以来、最先端の科学技術研究を追求し、高い評価を獲得してきました。例えば、2013年度から始まった文部科学省「研究大学強化促進事業」にも選定されています。大学学部受験の対象ではないため、偏差値ランキングに奈良先端大が登場することはありませんが、日本国内はもとより、海外の研究者の間でも“NAIST (Nara Institute of Science and Technology)”の名前は広く知られています。皆さんも、山中伸弥先生のiPS細胞など、奈良先端大で生まれた研究成果のいくつかを耳にしたことがあるかもしれません。

欧米など日本以外の国では、学部卒業後に同じ大学の大学院に進学する学生は少なく、また、学内からの志願者を合格させる大学院もあまりありません。その根本にあるのは、同じ大学に長く居続けるよりも、新しい環境と教授陣のもとで学修し、さらに友人の幅も広げることで、より多くを学び成長することができるという考え方です。奈良先端大でも、さまざまな大学・高等専門学校卒業生や社会人が入学し、全員が横一線 で新たなスタートを切ります。そのために、異なった分野で教育を受けた多様な新入生が、最先端の研究に取り組むための基盤知識を修得できるよう、奈良先端大では組織的・体系的な大学院カリキュラムを他大学に先駆けて整備してきました。

さらに2018年には、従来の情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3つの研究科を一つに統合した先端科学技術研究科が誕生し、学生が自分の興味に沿ってさまざまな分野の科目を履修することができるようになりました。また、異分野融合の教育プログラムや研究センターを新設し、SDGsをはじめとする社会あるいは世界レベルの課題に取り組むリーダーとして活躍できる人材の育成を進めています。変化を続ける社会は、高度な専門性を持って様々な課題に挑戦できる人材を求めている、本学で修士号・博士号を取得した学生の就職先も、大学や公的研究機関だけでなく、多様な産業分野に急速に拡大しています。大学院生に特化したキャリア形成・就職支援体制の充実も奈良先端大の強みです。

本学の卒業生の活躍の場は、日本国内に留まりません。世界を舞台に活躍できる人材を育成するために、本学ではネイティブ・スピーカーによる語学科目や英語でも履修できる専門科目講義、海外研修科目などが設置されており、また、多くの学生が国際学会で発表を行っています。文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の対象にも選ばれている本学では、在学生のおおよそ4人にひとりには留学生であり、日本人と留学生が共に学修し研究に取り組む、国内にいながら海外留学のような環境のグローバルキャンパスが実現しています。

奈良先端大の大学院生は、学生であると同時に若手研究者でもあります。世界でまだ誰も成し遂げていないことに取り組む中で、自らを研ぎすまし、自分のポテンシャルを究めることができるのが研究であり、大学院ならではのトレーニングであるとも言えるでしょう。トップレベルの研究者でもある本学の教授陣が、あなたとの新しい共同研究を楽しみにしています。



奈良先端大はあなたの未来を拓きます！

目 的

奈良先端科学技術大学院大学 (奈良先端大) は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を育成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

育成する人材像

博士前期課程では、社会・経済を支える情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学の高度な専門性と、それに隣接する融合分野を理解できる広範な素養を持ち、社会全体を見渡す俯瞰的な視点から物事を考え、社会において先端科学技術の活用やイノベーションを担う人材を育成します。

博士後期課程では、情報科学、バイオサイエンス、あるいは、物質創成科学及び関連する融合分野に係る高度な先端知識と幅広い視野に加え、国際性や主体性・自立性を備え、高い志を持って科学技術研究に挑戦し、産官学にわたり国際社会で指導的な役割を果たす研究者・高度専門技術者を育成します。

アドミッション・ポリシー (入学者受入れ方針)

博士前期課程

◆求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求める。特に、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人を積極的に受け入れます。

◆入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

博士後期課程

◆求める学生像

国内外を問わず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、先端科学技術分野に対する強い興味と意欲を持った人を求める。特に、これまでに修得してきた深く広い専門知識を、人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い先端科学技術分野での活躍を志している人を積極的に受け入れます。

◆入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から選抜するため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜方法を実施します。

先端科学技術研究科の特色

2018年4月、これまでの情報科学・バイオサイエンス・物質創成科学の3つの研究科を統合し、先端科学技術研究科が誕生しました。

- ・これまでの研究科間の垣根をなくすことで、関連する研究分野の教員が結集して最先端科学術教育を行える柔軟な教育体制を構築します。
- ・学生の興味、意欲にきめ細やかに対応するため、履修科目選択に自由度を持たせた教育を実現します。
- ・高度な専門性を修得させるための7つの「教育プログラム」を設定します。
- ・他の分野を学ぶのに必要な基礎・専門知識を学べる仕組みを導入し、大学・高専専攻科で身に着けた専門性をベースとして、他の専門分野への挑戦を可能とします。
- ・民間企業の研究者・技術者を講師に招き、社会実装までを想定して社会ニーズに基づく問題の解決を行うPBL (Project Based Learning) 形式の演習を実施します。

○修業年限の弾力化

優れた研究業績を修めた者は、博士前期課程は1年以上、博士後期課程は博士前期課程と併せて3年以上の在籍で修了できる短期修了制度があります。(2020年3月現在の実績：博士前期課程約180名、博士後期課程約310名)。

○優秀な学生への経済支援

大学院生が生活に不安なく学習や研究に没頭できるように、成績優秀な学生は、TA、RA 雇用を通じた経済支援を行っています。
TA (ティーチングアシスタント) 制度：博士前期課程 2 年次以上の学生を対象に、講義資料の収集・整理・作成補助、レポートの採点補助など大学院教育の一部作業に参加させて経済的自立を支援。
RA (リサーチアシスタント) 制度：優秀な博士後期課程学生を研究プロジェクトの研究補助者として雇用。

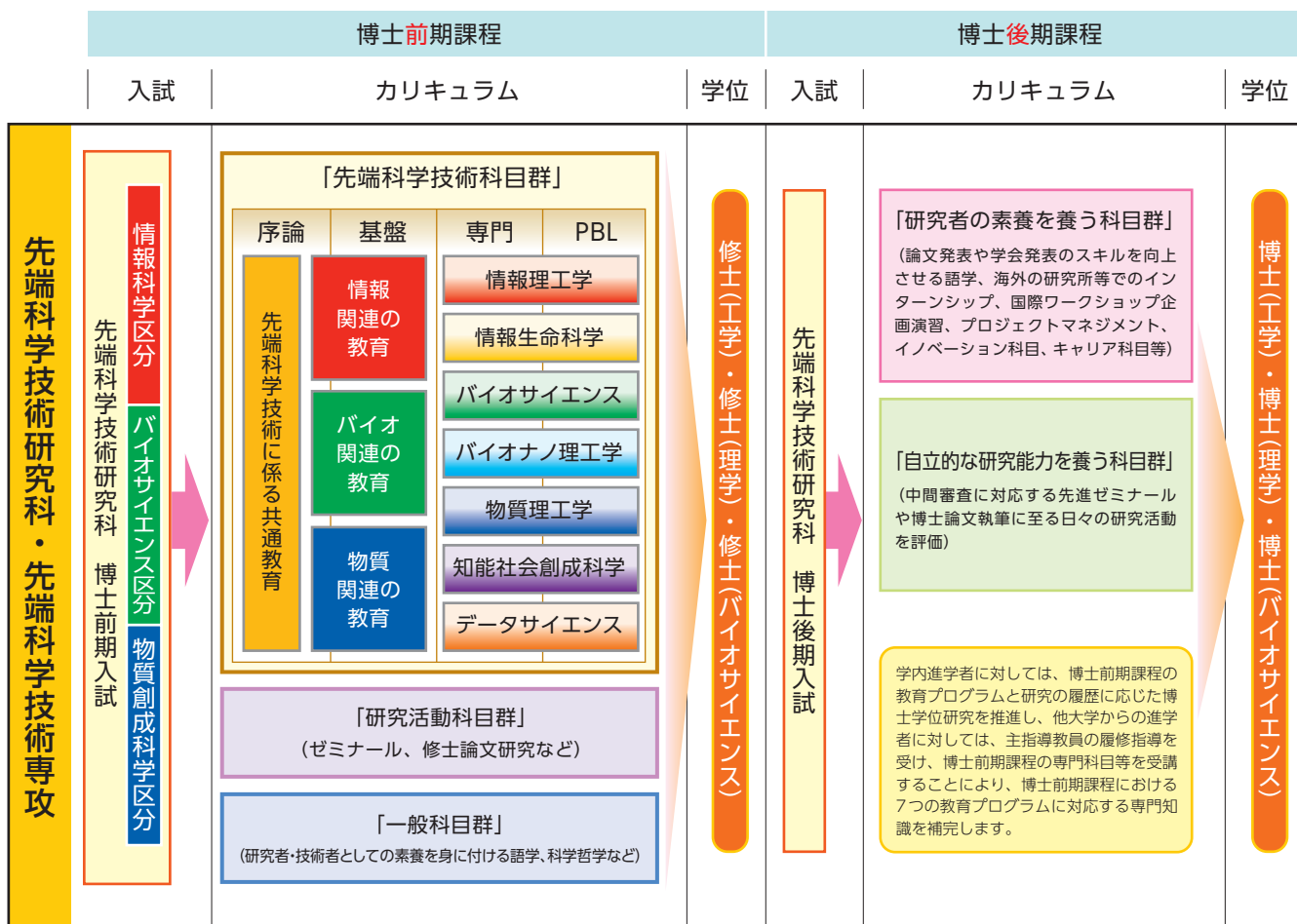
○行き届いた学生への生活・修学・就職支援

キャンパス内には、学生宿舎を用意しており、研究活動に十分な時間を確保するための一助となっています。また、希望者のほとんどが、日本学生支援機構の奨学金を受給しています。外国で行われる国際会議に参加するための旅費の援助制度も整っています。学術交流協定校は全世界に広がっており、留学機会にも恵まれています。

なおキャリア支援室を通じた就職情報の提供や、学生個人レベルでのきめ細かなアドバイスを行っています。

○卓越した研究業績とそれを支えるオープンで活気に満ちた多彩な教授陣による優れた研究環境

国際的に活躍している教授陣、各分野で嘱望されている若手教員を擁し、卓越した業績をあげています。科学研究費補助金をはじめ競争的外部資金の導入は、教員 1 人当たりでは国内でトップクラスです。学生に対する教員数の比率が高いため、きめ細かなマンツーマン教育を実現しています。最新の研究設備を完備し、建物も新しく広々としたスペースで、心行くまで研究や勉強に打ち込める環境が整っています。

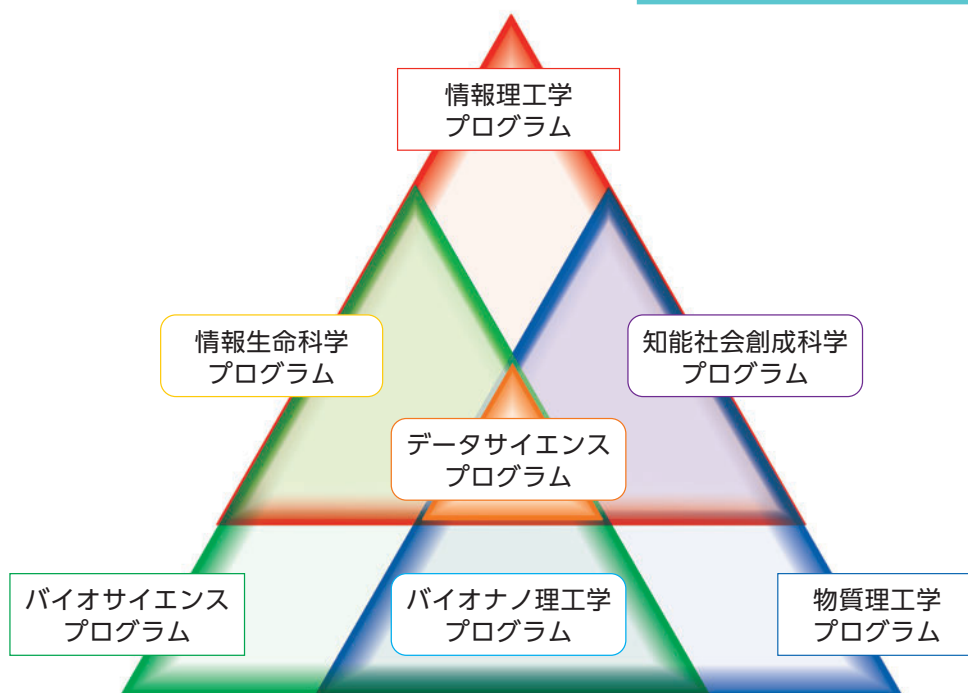


7つの教育プログラム

博士前期課程に入学された方に、次の7つの教育プログラムを用意しています。

融合した教育プログラムの概念図

先端科学技術研究科



7つの教育プログラムの概要と人材育成目標

情報理工学プログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学）



情報科学を主体とするプログラムです。コンピュータ本体及び情報ネットワークに関する技術、コンピュータと人間のインタラクション及びメディアに関する技術、ロボット等コンピュータを駆使する各種システムに関する技術など、広い視野と高度な専門性を備え、様々な分野で情報科学技術の高度化やその多面的な活用により、高度情報化社会を支える人材を育成します。

選択
研究
室

（情報科学領域）

コンピューティング・アーキテクチャ、ディペンダブルシステム学、ユビキタスコンピューティングシステム、ソフトウェア工学、ソフトウェア設計学、サイバーレジリエンス構成学、情報セキュリティ工学、情報基盤システム学、自然言語処理学、知能コミュニケーション、ネットワークシステム学、インタラクティブメディア設計学、光メディアインタフェース、サイバネティクス・リアリティ工学、ソーシャル・コンピューティング、ヒューマンロボティクス、知能システム制御、大規模システム管理、数理情報学、生体医用画像、計算システムズ生物学、ロボットラーニング

情報生命科学プログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）



情報科学とバイオサイエンスの融合プログラムです。遺伝子やタンパク質、代謝などに関する膨大な生体情報や医用画像データなど、生命現象にかかわる大規模なデータの取得ができる人材及びその解釈ができる人材あるいはこれらの技術開発のできる人材を育成します。

選択
研究
室

（情報科学領域）

コンピューティング・アーキテクチャ、ユビキタスコンピューティングシステム、ソフトウェア工学、情報セキュリティ工学、ネットワークシステム学、インタラクティブメディア設計学、光メディアインタフェース、サイバネティクス・リアリティ工学、ソーシャル・コンピューティング、ヒューマンロボティクス、知能システム制御、数理情報学、生体医用画像、計算システムズ生物学

（バイオサイエンス領域）

植物細胞機能、植物発生シグナル、植物代謝制御、植物成長制御、植物生理学、植物免疫学、植物共生学、植物二次代謝、バイオエンジニアリング、分子情報薬理学、機能ゲノム医学、腫瘍細胞生物学、分子免疫制御、分子医学細胞生物学、RNA分子医科学、幹細胞工学、発生医科学、器官発生工学、ストレス微生物科学、構造生命科学、遺伝子発現制御、神経システム生物学、データ駆動型生物学

バイオサイエンスプログラム

授与される学位 修士・博士（バイオサイエンス）



バイオサイエンスを主体とするプログラムです。動植物・微生物について、分子・細胞・個体レベルで、生命現象の基本原理から生物の多様性まで、最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、国内外の民間・公的機関において、環境・エネルギー・食料・資源や健康・長寿等の諸問題解決に資することにより、人類の発展と地球環境の保全に貢献する人材を育成します。

研
究
室

（バイオサイエンス領域）

植物細胞機能、植物発生シグナル、植物代謝制御、植物成長制御、花発生分子遺伝学、植物生理学、植物免疫学、植物共生学、植物二次代謝、バイオエンジニアリング、分子情報薬理学、機能ゲノム医学、腫瘍細胞生物学、分子免疫制御、分子医学細胞生物学、RNA分子医科学、幹細胞工学、発生医科学、器官発生工学、ストレス微生物科学、環境微生物学、構造生命科学、遺伝子発現制御、神経システム生物学、データ駆動型生物学

バイオナノ理工学プログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）



バイオサイエンスと物質創成科学の融合プログラムです。生命活動の分子基盤を理解し、医薬品や医用工学材料の開発、生命機能を模した新規高分子の開発、再生医療を支える新規細胞工学の開拓など、人類の未来を支える新たな機能材料を開発する能力を育成し、また、物質科学の理解に基づく、バイオサイエンス研究の新潮流の開拓に携わることのできる人材を育成します。

研
究
室

（バイオサイエンス領域）

植物細胞機能、植物発生シグナル、植物代謝制御、植物成長制御、花発生分子遺伝学、植物生理学、植物共生学、バイオエンジニアリング、分子情報薬理学、機能ゲノム医学、腫瘍細胞生物学、分子免疫制御、分子医学細胞生物学、RNA分子医科学、幹細胞工学、発生医科学、器官発生工学、ストレス微生物科学、環境微生物学、構造生命科学、遺伝子発現制御、神経システム生物学

（物質創成科学領域）

生体プロセス工学、光機能素子科学、情報機能素子科学、感覚機能素子科学、光反応分子科学、機能有機化学、バイオ・テクノミメティック分子科学、機能高分子科学、先進機能材料、機能超分子化学、分子複合系科学、ナノ高分子材料

物質理工学プログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学）



物質創成科学を主体とするプログラムです。固体物性学、デバイス工学、分子化学、高分子材料、バイオナノ理工学などを横断する教育プログラムにより、物質科学に関する基盤知識と専門性を活かすための高度な知識を持ち、人類の豊かな生活の維持と社会の発展を支える次代の科学技術の担い手となる人材を育成します。

研
究
室

（物質創成科学領域）

量子物性科学、生体プロセス工学、物性情報物理学、光機能素子科学、情報機能素子科学、量子物理工学、有機エレクトロニクス、メゾスコピック物質科学、感覚機能素子科学、光反応分子科学、機能有機化学、バイオ・テクノミメティック分子科学、機能高分子科学、環境適応物質学、先進機能材料、機能超分子化学、分子複合系科学、ナノ高分子材料、マテリアルズ・インフォマティクス、データ駆動型化学

知能社会創成科学プログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学）



物質創成科学と情報科学の融合プログラムです。機能性物質の設計、新機能を実装したデバイスや現実世界をセンシング、分析するデバイスの設計、分析結果をさまざまに生かすシステム構築、機械やロボットの制御システムまでを統合的に捕らえる広い視野を持ちつつ、その中の特定分野の深い専門知識を身につけたIoT時代の社会システムを支える人材を育成します。

研
究
室

（情報科学領域）

コンピューティング・アーキテクチャ、ディペンダブルシステム学、ユビキタスコンピューティングシステム、ソフトウェア工学、ソフトウェア設計学、サイバーレジリエンス構成学、情報セキュリティ工学、情報基盤システム学、ネットワークシステム学、インタラクティブメディア設計学、光メディアインタフェース、サイバネティクス・リアリティ工学、ヒューマンロボティクス、知能システム制御、大規模システム管理、数理情報学、計算システムズ生物学、ロボットラーニング

（物質創成科学領域）

量子物性科学、光機能素子科学、情報機能素子科学、有機エレクトロニクス、メゾスコピック物質科学、感覚機能素子科学、光反応分子科学、環境適応物質学、先進機能材料、マテリアルズ・インフォマティクス

データサイエンスプログラム

授与される学位 修士・博士（工学／理学／バイオサイエンス）



情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の融合プログラムです。情報科学、バイオサイエンス、物質科学に関わるデータ駆動型科学、AI 駆動型科学の最先端の幅広い知識と高度な専門性を備え、蓄積された膨大なデータの処理、可視化、分析を通じてその奥に隠れた「真理」や「価値」を引き出して、次代の科学・技術の進歩や社会の発展に貢献できる人材を育成します。

研
究
室

（情報科学領域）

コンピューティング・アーキテクチャ、ディペンダブルシステム学、ソフトウェア工学、サイバーレジリエンス構成学、情報セキュリティ工学、情報基盤システム学、自然言語処理学、知能コミュニケーション、インタラクティブメディア設計学、サイバネティクス・リアリティ工学、ソーシャル・コンピューティング、知能システム制御、数理情報学、生体医用画像、計算システムズ生物学、ロボットラーニング

（バイオサイエンス領域）

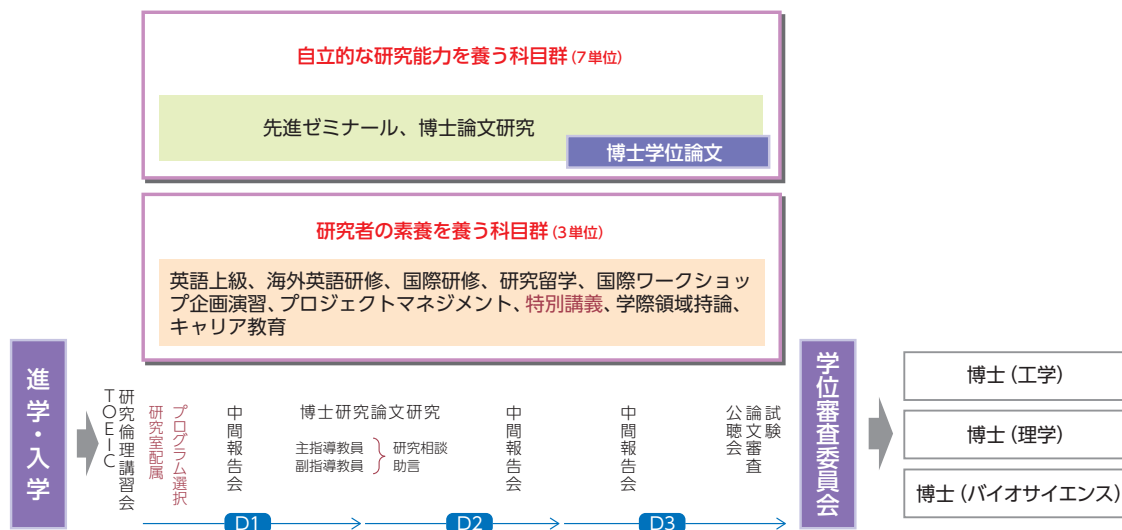
植物細胞機能、植物発生シグナル、植物代謝制御、植物成長制御、花発生分子遺伝学、植物生理学、植物免疫学、植物共生学、植物二次代謝、バイオエンジニアリング、分子情報薬理学、機能ゲノム医学、腫瘍細胞生物学、分子免疫制御、分子医学細胞生物学、RNA分子医科学、幹細胞工学、発生医科学、器官発生工学、ストレス微生物科学、構造生命科学、遺伝子発現制御、神経システム生物学、データ駆動型生物学

（物質創成科学領域）

生体プロセス工学、物性情報物理学、光機能素子科学、情報機能素子科学、メゾスコピック物質科学、光反応分子科学、機能有機化学、マテリアルズ・インフォマティクス、データ駆動型化学

博士後期課程の教育課程

標準モデル



本学からの進学者には、博士前期課程の教育プログラムにおける教育研究をさらに発展させた学位研究を推進していきます。また、他大学からの進学者には、博士前期課程の7つの教育プログラムに対応する専門知識を教育し、博士前期課程における教育・研究の履歴に応じた学位研究を推進していきます。

Check Point!

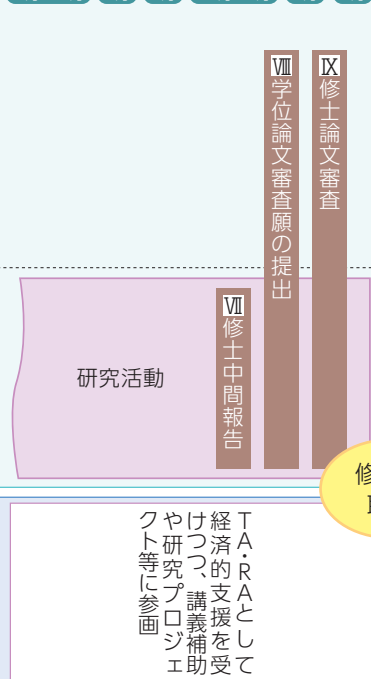
「研究者の素養を養う科目群」について

国際性、国際コミュニケーション能力を養う科目により、英語論文の作成法と高度な国際コミュニケーションの方法を学び、海外の研究室等でのインターンシップや国際的な会議に参加し、発表や討論を行います。また、学内外、国内外での教育研究の場を通じて研鑽を積むことを目指します。



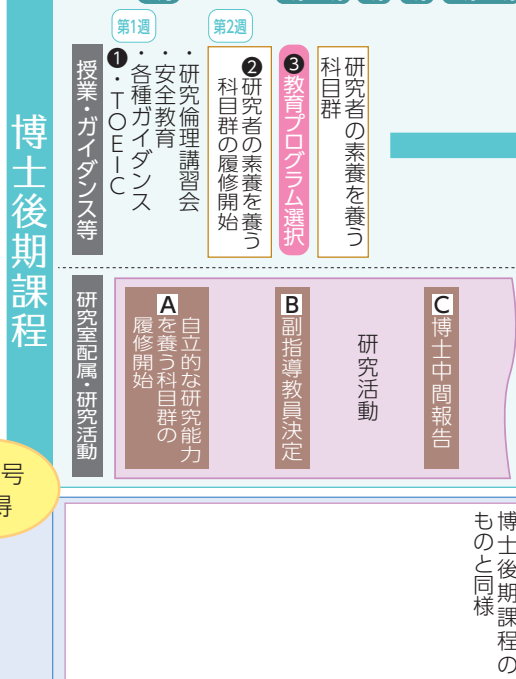
2年次

4月~7月 8月 9月 10月~1月 2月 3月



1年次

4月 5月~7月 8月 9月 10月~3月



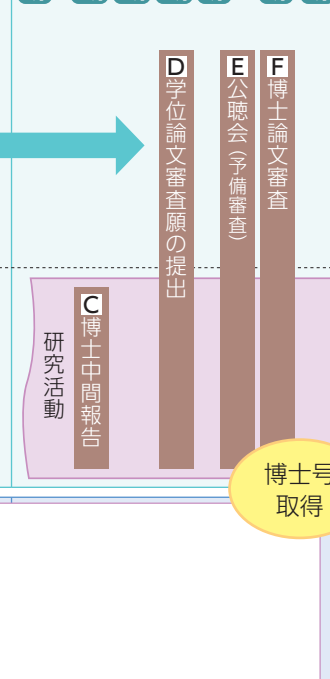
2年次

4月 9月 10月



3年次

4月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



2年次

4月~7月 8月 9月 10月~1月 2月 3月



3年次

4月 5月~7月 8月 9月 10月~3月



4年次

4月 9月 10月



5年次

4月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



*5年一貫コース学生に決定した場合でも、博士後期課程への進学は、別途実施する学内進学試験で合格する必要があります。

学生数及び学位授与状況

学生数

研究科名	募集人員		現 員							合計
	博士 前期 (修士) 課程	博士 後期 (博士) 課程	博士前期（修士）課程			博士後期（博士）課程				
			1 年	2 年	計	1 年	2 年	3 年	計	
先端科学技術研究科	350	107	347 (62)	351 (80)	698 (142)	124 (41)	115 (32)	84 (20)	323 (93)	1021 (235)
情 報 科 学 研 究 科	0	0	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (4)	13 (4)	14 (4)
バイオサイエンス 研 究 科	0	0	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (6)	9 (6)	10 (6)
物質創成科学研究科	0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	4 (0)	4 (0)
合 計	350	107	347 (62)	353 (80)	700 (142)	124 (41)	115 (32)	110 (30)	349 (103)	1049 (245)

(2021年1月1日現在)

※赤字は女性を内数で示す。

※募集人員・現員には、秋学期入学者を含む。

学位授与状況

研究科名		博士前期課程			博士後期課程		
		修士 (工学)	修士 (理学)	修士 (バイオサイエンス)	博士 (工学)	博士 (理学)	博士 (バイオサイエンス)
先端科学技術研究科	2018年度	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)
	2019年度	184(1)	40(0)	97(0)	2(2)	0(0)	2(2)
	累計（2018～2019）	184(1)	40(0)	97(0)	3(3)	1(1)	2(2)
情報科学研究科	2017年度	139(2)	2(0)	—	36(7)	8(2)	—
	2018年度	136(2)	7(0)	—	15(2)<1>	2(0)	—
	2019年度	19(0)	2(0)	—	26(1)<1>	0(0)	—
	累計（1993～2019）	3338(158)	135(9)	—	656(187)<18>	67(14)<1>	—
バイオサイエンス 研 究 科	2017年度	—	—	97(0)	—	—	29(0)<5>
	2018年度	—	—	136(0)	—	—	18(0)<2>
	2019年度	—	—	6(0)	—	—	27(0)<1>
	累計（1995～2019）	—	—	2650(4)	—	—	525(14)<45>
物質創成科学研究科	2017年度	76(1)	22(0)	—	17(6)	13(2)	—
	2018年度	71(0)	28(0)	—	13(0)	5(0)	—
	2019年度	4(0)	1(0)	—	16(5)	4(0)	—
	累計（1999～2019）	1517(8)	371(4)	—	251(61)	132(31)	—

(2020年3月31日現在)

※()は、短期修了者数を内数で示す。< >は、本学の学位規程第3条第3項による学位授与者数を外数で示す。

先輩からのメッセージ

先輩

01



池田 聖華

博士前期課程
数理情報学研究室

研究意欲の高い学生と切磋琢磨しながら 過ごすことができます

NAISTは門が広く開かれており、学部時代とは違う分野の研究を行えることが大きな魅力の一つであると思います。また私自身の体感として、学びや研究への意欲が高い学生が多く、そんな環境に身を置くことができるのは、院生として好運であると感じると同時に、周囲に置いて行かれないように一層真剣に取り組もうという気持ちになります。私も他分野から現在の研究分野に飛び込んだ1人ですが、研究の世界は奥が深く、日々興味が尽きることはありません。入学当初は授業や研究についていけないのが不安に感じていましたが、高い専門性を持った先生方や手を差し伸べてくれる先輩方、そして助け合い刺激しあえる同期たちのおかげで、楽しく研究することができています。

少しでもNAISTでの研究に興味を持っているのであれば、新しい扉を叩いてみてはどうでしょうか。NAISTはそんなみなさんを必ずサポートしてくれると思います。

先輩

02



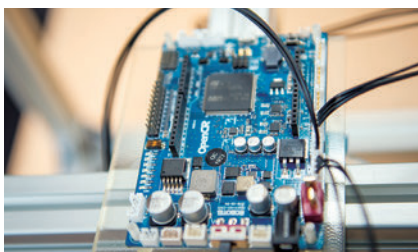
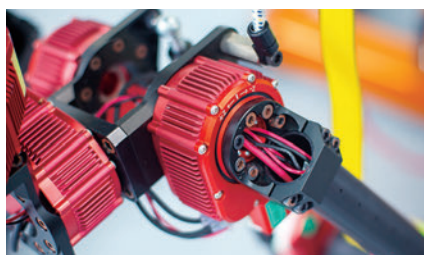
三崎 慎也

博士後期課程
ユビキタスコンピューティングシステム研究室

恵まれた環境で思う存分研究に 取り組むことができます

NAISTは新しい研究を行うには最適な環境です。学部がない大学院大学ということもあって、入学してくる学生は様々な大学・高専から来た学生であり、ほとんどの人たちが卒業研究とは違ったテーマで研究を行うので全員平等に一人からスタートできます。また、情報系、機械系、電気・電子系と様々な分野を専門として研究してきた学生が集まるため、研究を多角的に見て、教員と学生間で活発に議論することによって、自分がやりたいと思っていた研究テーマをスムーズに、かつより良く研究できます。この他にも研究環境が充実しており、他所ではあまり使用できないような高精度な光造形3Dプリンタやスマートホームなどの機材や規模の大きい実験施設を使用できること、研究に必要なデバイスや計算機サーバがすぐと与えられることもここで研究することのメリットです。

もし、NAISTでの研究に興味を持たれましたら、ぜひともオープンキャンパスや「いつでも見学会」で見学しに来てください!



※このページに掲載している学生の所属等は撮影当時のものです。

先輩

03



山本 裕子

博士前期課程
分子医学細胞生物学研究室

NAISTのインターンシップ制度で より深く研究に打ち込むことができます

私は学部から大学院に進学するにあたり、より医療に近い基礎研究がしたいと考えて研究室を探していました。そのとき、NAISTで行われている春の長期インターンシップ制度を知りました。この制度では、研究室に10日ほど滞在し、実験と文献読みを通して実際の研究を体験させてもらいました。学生や先生の普段の姿を見られたこと、より具体的な研究内容を知ることができたのがとても大きな収穫だったと思います。

入学後、先生と話し合って研究テーマを決め、自分の望みに近い研究を始めました。今は免疫細胞の一種であるマクロファージ細胞を用いた研究をしています。活性化しているマクロファージ細胞を自動的に検出することで癌の免疫療法に貢献できるのではないかと考えています。この研究をする過程で情報科学領域の先生方の協力を得ており、自動検出にAIを用いようとしています。このように領域を超えた共同研究を行いやすいのもNAISTの特徴です。自分の力だけではなく、周りの支えもあって充実した研究生生活をおくっています。

先輩

04



示野 誠也

博士後期課程
ストレス微生物科学研究室

留学生と交流できることや 設備の充実が奈良先端大の魅力

奈良先端大は学部をもたない大学院大学のため、各地から様々なバックグラウンドを持つ学生が集まっており、多様な考え方に触れることができます。また、留学生の数が多く、積極的に留学生とコミュニケーションをとることで英語力を向上させることもできます。博士後期課程に進学すると、語学研修プログラムや研究留学に参加することができ、さらなる英語力の向上と異文化を学ぶことができる点はとても魅力的だと感じています。

研究設備・資金が充実している点が奈良先端大のもう1つの魅力的な点だと感じています。研究室が所有している以外に、共通機器として利用できる装置も多く、スムーズに研究を進めることができます。また、研究室の多くが大規模な研究費を獲得しており、不自由なく研究を行えています。個人的にはありますが、研究室を選ぶ点では、研究内容と研究費をどれくらい獲得しているかも注目するといと思います。興味を持たれた方は、オープンキャンパスへの参加や研究室訪問されてみることをお勧めいたします。



※このページに掲載している学生の所属等は撮影当時のものです。

先輩

05



藤田 隆一
博士前期課程
機能有機化学

自分の能力を高められる環境が整っています

奈良先端大には3つの魅力があると思います。

1つ目は、教員の質の高さです。在籍している教員は世界的に有名な方が多く、そういった教員の下で指導を受けられる機会というのは大変価値あるものだと思います。

2つ目は、多種多様な人材が集まっているところです。様々なバックグラウンドを持つ学生が1つの研究室に集まるため様々な考え方に触れることができ、研究について自分では思いつかないようなアイデアを提案してくれることもしばしばあります。また、学生のレベルも非常に高いので一緒に研究を行っていく中で自分のスキルアップを図れるかと思っています。

3つ目は、学校の研究設備が非常に充実しているところです。他所では触ることが出来ないような装置やデータで自分で扱うことができ、実験器具なども充実しているので余分な待ち時間は無く研究を次々と進めることが出来ます。

奈良先端大に興味のある方は、オープンキャンパスや研究室訪問をして、先生や学生と直接お話してみることをお勧めします。

先輩

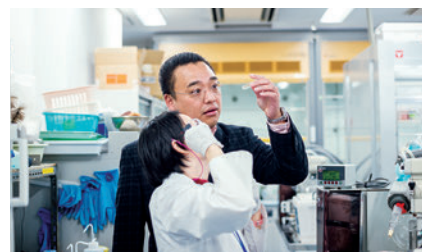
06



吉田 裕斗
博士後期課程
光反応分子化学

NAISTほど優れた環境に飛び込まないのはもったいない

NAISTは研究活動において不自由を感じることはありません。数ある大学の中でも豊富な研究資金と設備の面で優れており、試薬の購入や設備の不足で実験が滞ることは皆無です。それだけでなく、人の面でも素晴らしい環境が整えられており、各種測定装置に関する圧倒的な専門知識と技術を持つ技術職員の方々が様々な測定をサポートしています。こうした専任の技術職員の方々のバックアップを高頻度で受けられるのは比較的小規模なNAISTならではかもしれません。集まってくる学生についても、全国津々浦々から様々な学部学科を卒業した学生や社会人、海外からの留学生と人材の垣根となっており、多様性に富んでいます。異なる観点から研究について活発に議論できることは大学院大学のメリットであり、たくさんの刺激を受けることが出来ます。当然、これらの環境が整っているのは、優れた研究・指導力を有する先生方が多数在籍しているからです。この優れた環境に飛び込まないのは勿体ないと思います。将来、人の役に立つ最先端の研究をしたい人はぜひNAISTの見学に来てみてください。



※このページに掲載している学生の所属等は撮影当時のものです。

学習環境

充実した学習サポート環境

総合情報基盤センター

総合情報基盤センターは、大学の情報基盤に関する一元管理及び次世代システムの研究開発を行うことにより、大学における高度情報基盤を構築し、最先端の教育研究活動を支援するとともに、情報ネットワーク社会の進展に貢献することを目的としています。

情報処理環境

曼陀羅システム

本学では先端科学・技術に関する大学院大学の教育研究を支援するため、一元的に管理・運営されるコンピュータネットワークのもと、「曼陀羅システム」と呼ばれる以下のような全学情報環境が整備されています。

①個人常用ワークステーション

本学では学生に対して一人1台の端末が割り当てられます。専攻科目や利用方法に応じてノート型（Mac）、デスクトップ型（Mac, Windows）など複数の環境を用意しており、Microsoft Office などさまざまなアプリケーションが利用できます。これらの端末は総合情報基盤センターの集中管理によりインストールされているソフトウェアのバージョンアップが実施され、どの端末を利用しても全く同一の環境となっています。

②大容量データストレージ

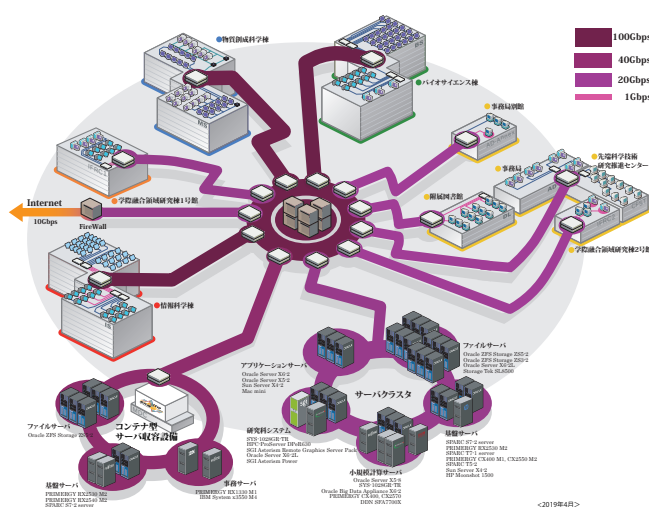
本学ではテープドライブシステムも利用した総容量25.4ペタ（10の15乗＝千兆）バイトにもおよぶ大容量データストレージを提供しています。個人常用ワークステーションで作成した研究データは、この大容量データストレージに割り当てられた個人専用スペースに保存されます。データのバックアップも毎日自動で実施されており、データ消失がない情報環境が提供されます。

③計算サーバ群

本学では大規模で複雑な科学技術計算を行うために、Oracle Big Data Appliance、Oracle Server X5-8、SuperServer SYS-1028GR-TR など最先端の計算サーバ群が提供されており、本学構成員は研究用途に応じて自由にこれらの計算機環境を利用することができます。より広範な利用用途、各種アプリケーション利用を可能とするために仮想化技術が導入されており、これらの計算サーバ群により利用者自身が計算機環境を自由に構築できます。

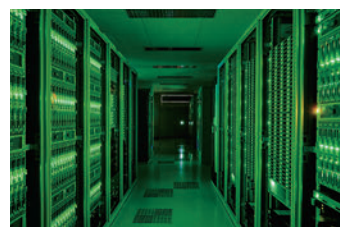
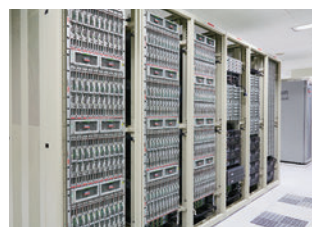
④キャンパスライセンスソフトウェア

本学では、Microsoft製品、ウイルス対策ソフトを包括契約しており、どの端末においても、これらのソフトウェアを利用できます。ウイルス対策ソフトについては個人用のパソコンにもインストールすることができます。研究に特化したソフトウェアであるMathematica、MATLABも包括契約しております。



曼陀羅ネットワーク

「曼陀羅ネットワーク」は曼陀羅システムの基盤を支えるネットワークです。曼陀羅ネットワークでは、幹線100ギガビット毎秒、支線40ギガビット毎秒という世界最速レベルの環境を提供しております。また、キャンパス全域で450メガビット毎秒の無線LANも使用できます。インターネットにも対外10ギガビット毎秒の高速専用回線で接続しており、国内外の主要サイトと超高速通信が可能です。



附属図書館 (p.27キャンパスマップ②)

附属図書館は、大学の教育・研究活動を支援するため「電子図書館」を構築し、電子ジャーナル、電子ブックをはじめ授業ビデオや学位論文等の学術情報を迅速に提供しています。来館型サービスとしては、紙媒体の文献や視聴覚資料はもちろん、「マルチメディアラウンジ」等の新しいスタイルの学びの場も提供しています。また、他大学図書館・国立国会図書館・奈良県立図書情報館とも連携し、幅広いサービスの充実に努めています。

附属図書館（電子図書館）の主な特徴

1. 24時間開館

大学の学生および教職員は、土日・祝日も含め24時間いつでも利用することができます。図書の貸出も自動貸出機により24時間可能です。

2. 図書館ポータルサイト

- 電子図書館の窓口として以下のような様々な機能を提供しています。
- ・大学で所蔵する図書・雑誌・電子化資料の他、電子ジャーナル・電子ブック、論文情報等の一括検索
- ・書名や著者名だけでなく、目次などを含めたきめ細かな検索機能
- ・登録したキーワードに関係する資料の新着アラート設定
- ・貸出中図書の予約や図書購入リクエスト、他館からの文献取り寄せのオンライン申し込み

3. 授業アーカイブ

講師の許諾を得て授業を録画し、データベース化して公開する「授業アーカイブ」事業を2005年度から行っており、オンラインでいつでも視聴することができます。一部授業については学外にも公開しています。

講師とスクリーンを収めた授業風景と、スクリーンに投影されたスライド画像の両画面を自由に切替えて見ることができます。また、映像の上には付箋を付けることができ、メモ書きや重要な場面のしおりとして、授業の復習や学習の発展に活用できます。

4. マルチメディアラウンジ、シアターラウンジ

図書館資料と電子情報を活用しながらグループ学習や討論・共同作業が可能となる、主体的な学びのためのスペースを用意しています。「マルチメディアラウンジ」には電子黒板、プロジェクターやソファ、新聞・雑誌などを備えており、グループディスカッション、セミナー、リフレッシュなど様々な目的に利用できます。「シアターラウンジ」は大画面での映像視聴や小グループでのミーティングに利用することができます。

デジタルグリーンイノベーションセンター（新設）

デジタルグリーンイノベーションセンターは、2021年1月1日に創設されました。当センターは、人類が直面する地球規模の深刻な環境問題と食糧問題を解決し、豊かで持続可能な社会を構築するために、植物及び微生物分野の研究を基盤にデジタル情報技術及び物質・材料科学技術を融合した学際分野としてのデジタルグリーン科学技術の創造を目指します。また、デジタルグリーン科学技術を基盤としたバイオエコノミーを推進するため、社会科学系客員教員を配置した文理融合の教育研究の実施や、デジタルグリーン科学技術に関する国際的な教育研究も行います。さらに、研究成果の社会実装につなげるため、バイオ産業との組織的な産学連携を行い、産業界との共同研究の推進を行います。

遺伝子教育研究センター

学内共同研究施設として放射線実験施設、動物実験施設、植物温室などの管理運営を行っています。

放射線実験施設は全学のアイソトープの安全管理と利用者への教育実習を行っています。

動物実験施設では、小動物の飼育管理や利用者講習会を行うとともに遺伝子改変マウスの作製も行っており、動物個体レベルでの研究のサポートをしています。植物温室は、開放系と閉鎖系の温室をもち、研究に必要な植物個体とトランスジェニック植物の管理などを行っています。これらの各施設は最先端のバイオサイエンス研究を進めるために必須なもので、専門の技術職員が配置され施設の円滑な運営に努めています。

物質科学教育センター

物質科学教育研究センターは、物質科学分野の先端科学技術に係る教育研究のうち、各専門分野を横断的に網羅する物質科学の三要素、新規な機能物質の設計、物質の微細加工や制御複合化による新素材の合成、新物質・新材料の機能解析と評価に関する教育研究と実験・実習を行う学内共同教育研究施設です。多様な先端研究設備群を運用した研究・教育支援を行っているほか、産業界を含めた学外の研究支援などを通じた社会貢献に取り組んでいます。また、高圧ガスや化学薬品の管理・運用などについても支援を行っています。

データ駆動型サイエンス創造センター

データ駆動型サイエンス創造センターは2017年4月4日に創設されました。当センターでは、これまで研究者の知識に基づき実験を行い、検証を行う仮説駆動型でなく、大規模なデータと人工知能技術によるデータ駆動型の新たなサイエンスを生み出す研究を目指します。具体的には、シミュレーション、データサイエンス、機械学習、人工知能などの技術を用いてマテリアルズ・インフォマティクス、ケモインフォマティクス、バイオインフォマティクス分野、そして次世代の人工知能分野の新たな研究を目指します。さらに、産業界との共同研究、人材交流を行うことで成果の速やかな展開を行います。

■データサイエンス部門

データ駆動型サイエンスの基盤的研究や人工知能（深層学習、推論モデル）を中心にデータ駆動型サイエンスの基礎となる理論を開拓します。

■マテリアルズ・インフォマティクス部門

データ駆動の手法を物質創成科学に適用し、プロセスまで含めた新材料の探索や新規機能開発を行います。

■バイオインフォマティクス部門

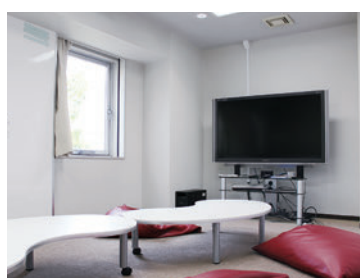
分子生物学の発達で急増してきた生物学データの解析にデータサイエンスの手法を適用し、生命現象の統計的な解明とその応用を目指します。

■社会実装部門

産官学連携により、データ駆動型サイエンスの研究成果の社会的な実装と活用への積極的な取組を行います。

□データサイエンスプログラムを中核組織として推進

2018年度から開始されたデータサイエンスプログラムにおいて、数理統計から深層学習、マテリアル/ケモ/バイオインフォマティクスの基礎、そして、プロジェクトベースドラーニング (PBL) により構成される講義の設計、実施を行い、次世代の研究者、データサイエンティストを養成します。



◆シアターラウンジ (左) ・マルチメディアラウンジ(右)

経済支援

本学では、経済支援に関する全学的な方針として、「学生への経済的支援に関する方針」を策定し、同方針に基づき、学生が教育・研究活動に専念することができるように、大学をあげて、最大限の経済支援を実施しています。



必要な学費

入学科

¥282,000

授業料

	1年次・春学期	1年次・秋学期	2年次・春学期	2年次・秋学期		
博士前期課程	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900		
	1年次・春学期	1年次・秋学期	2年次・春学期	2年次・秋学期	3年次・春学期	3年次・秋学期
博士後期課程	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900	¥267,900

※上記は予定額です。入学時及び在学中に学生納付金の改訂が行われた場合には、改正時から新たな納付金額が適用されます。
 ※春学期入学かつ標準修業年限である博士前期課程2年間（4学期分）、博士後期課程3年間（6学期分）を基に算出しています。
 ※上記のほか、入学時に本学同窓会への御入会をお願いしております。（永年会費2万円）詳細は p.28 をご参照ください。

経済支援の実施状況

①優秀学生奨学制度

- ・優秀な博士後期課程学生の1年次授業料を**全額免除**。
 - ・支援対象者は、毎年度15名以内。
 - ・優秀学生として表彰。
- 【対 象】博士後期課程学生



②社会人学生への奨学支援

- ・企業等に所属している学生の授業料**全額免除**又は奨学一時金**20万円**の給付を実施。
 - ※入学科及び授業料相当額を所属企業等が負担している者を除く。
 - 応募者の中から審査の上、対象者を決定。
- 【対 象】博士後期課程学生

③経済的困窮者に対する授業料免除制度

- ・博士前期及び後期課程学生の経済的困窮者を幅広く支援し、さらに**博士後期課程学生へのより手厚い支援**を実施。
 - ・本学の定める免除基準（家計基準及び学業基準）を満たす学生は、過去5年間（2016～2020年度）**100%**免除認定。
- 【対 象】博士前期課程及び博士後期課程学生

■入学科・授業料免除、入学科徴収猶予

本学では、以下①②の方を対象者とし、選考の上、入学科/授業料の全額又は一部を免除する制度があります。また、入学科については、徴収猶予の制度もあります。

- ①経済的理由により入学科又は授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ②入学前1年以内に、学費負担者が死亡したこと、又は学生若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学科又は授業料の納付が著しく困難であると認められる方

④ T A ・ R A 優先採用制度

・ T A、R A に優先的に採用することによって、**授業料の半額分を支援**し、さらに個々の状況に応じ、**追加の支援**を実施。

【対 象】 5年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生

■ティーチング・アシスタント (TA) / リサーチ・アシスタント (RA)

①TA 博士前期課程2年次以上の学生を対象として、将来、教育者となる意欲と優れた能力を持つ学生に、教育者としてのトレーニングの機会を提供するため、TA制度を設けています。

〔2019年度採用実績〕

307名採用 待遇／年間（最大） 3～360時間（時給1,234～1,476円）

②RA 主に博士後期課程の学生を対象として、将来、研究者となる意欲と優れた能力を持つ学生に、研究者としての研究遂行能力の育成を図るため、RA制度を設けています。

〔2019年度採用実績〕

327名採用 待遇／年間（最大） 5～1,024時間（時給1,234～2,042円）

※担当時間数・時給については、課程・研究分野により変わります。

⑤ 学生宿舍への優先入居

・ 博士後期課程への進学意欲の高い学生に**優先的に学生宿舍**を提供。

・ 学生宿舍は、寄宿料(共益費込み)で**月額1万円**、インターネット利用料無料、キャンパス近接立地。※単身用及びシェアタイプ居室

【対 象】 5年一貫コース所属学生及び博士後期課程学生

⑥ 日本学生支援機構貸与奨学金（第一種奨学金及び第二種奨学金）への優先推薦

・ 博士後期課程への進学意欲の高い学生を日本学生支援機構貸与奨学金へ**優先的に推薦**。

【対 象】 5年一貫コース所属学生

■日本学生支援機構奨学金

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により、修学が困難であると認められる場合には、本人の出願に基づいて選考の上、奨学金が貸与されます。日本学生支援機構奨学金制度には、無利子の第一種奨学金制度と有利子の第二種奨学金制度があります。

第一種奨学金の貸与を受けた者の**30%**を上限として、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者を対象に、貸与期間終了時に**奨学金の全部又は一部の返還を免除**することができる「特に優れた実績による返還免除制度」が実施されています。

	入学時貸与月額など	
	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
博士前期（修士）課程	次の貸与月額から選択 50,000 円、88,000 円	次の貸与月額から選択 5・8・10 13・15万円
博士後期（博士）課程	次の貸与月額から選択 80,000円、122,000円	
2020年度入学貸与者	184名 (100%)	17名 (100%)

（ ）内は貸与率（貸与者／貸与希望者）。この貸与率は追加採用、臨時採用を含む2020年度最終実績である。

⑦ 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程：2年間、博士後期課程：3年間）で修了することが困難な者が、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる制度です。

入学時に申請し、認められた場合、標準修業年限に基づく授業料の合計金額を長期履修期間として認められた年数で除した額が年間授業料となります。

【例】博士前期課程を長期履修（3年間で履修）する場合の授業料

2年間の授業料 1,071,600円 ÷ 3年 = 年間授業料 357,200円

生活支援

学生宿舎

本学では、709戸の学生宿舎を用意しています。

学生宿舎へ入居することが、十分な研究時間の確保と経済的な負担の軽減の一助となっています。

24時間体制で研究活動をサポートするため、宿舎にいながらでも、附属図書館や国内外の学術研究機関のネットサービスを利用できるネット環境を提供しています。

■日本人学生・外国人留学生のシェアタイプ型学生宿舎

国際的な視野を持つ人材を育成することを目的として、日本人学生・外国人留学生のシェアタイプ型学生宿舎を新設しました。

■各年度入学者に係る入居率

年度	博士前期課程	博士後期課程
2018年度	45%	100%
2019年度	47%	100%
2020年度	46%	100%

※入居率＝入居者／入居希望者

※2020年12月1日時点（年度途中入居者含む）

※留学生を除く

【博士前期課程の入居者選考方法】

入居者の選考は、入学試験の成績をもとに決定します。



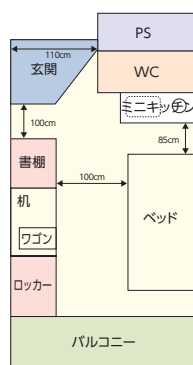
学生宿舎

	単 身 用	シェアタイプ※	夫 婦 用	家 族 用
居 室 数	559室	90室	50室	10 室
居 室 面 積	13㎡	9～10㎡	36.98～41.45㎡	51.56㎡
設 備 等	机、ベッド、ミニキッチン、トイレ等	机、ベッド、エアコン等	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等	机、キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等
共 有 設 備	浴室、ランドリー室、ラウンジ	キッチン、トイレ、浴室、洗濯機等	—	—
寄宿料(共益費込み)	月額 10,000円	月額 10,000 円	月額 12,500円～13,000円	月額 15,300円
光 熱 水 料	入居者負担	入居者負担	入居者負担	入居者負担
インターネット回線	無料	無料	無料	無料

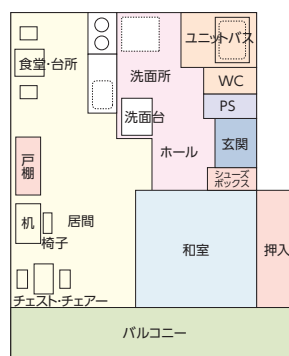
※2021年4月から入居開始予定。



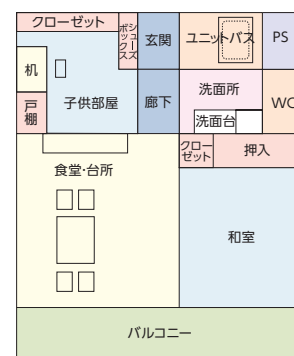
単身用居室



単身用居室



夫婦用居室



家族用居室

■学生宿舎駐車場

駐車場は249台分あり、利用希望者のほぼ全員が割当てを受けています。利用料金は無料です。

大学借り上げ住宅【(独)都市再生機構】

学生宿舎への入居が叶わなかった方、また入居を希望されなかった方の下宿探しの一助として、大学周辺の(独)都市再生機構の3団地(中登美第三団地、平城第一団地、富雄団地)賃貸住宅を大学が借り上げ、希望者に提供しています。

■家賃等の目安

間取り1DK～3DKの物件 ●家 賃：3万5千～5万円
●共益費：3千円前後
●保証金：なし

民間アパート等

アパート、マンションを斡旋する業者を紹介します。

■家賃等の目安

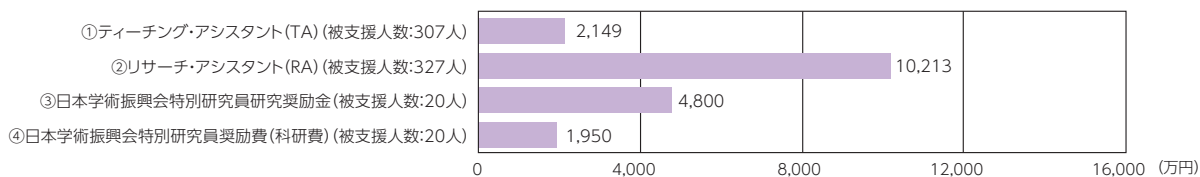
(本学周辺におけるワンルームマンションの場合)

間取り6～7畳の物件 ●家 賃：2～5万円
●共益費：0～5千円
●保証金：5～20万円

グラフで見る学生支援

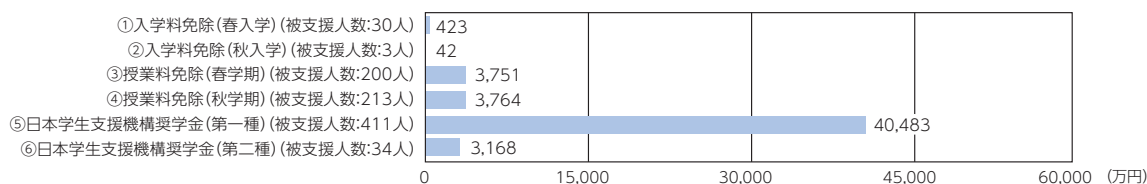
大学院教育・研究活動支援

※下記支援額は、2019年度における本学在学生に対する経済支援の概算数値



学生生活支援

※下記支援額は、2020年度における本学在学生に対する経済支援の概算数値



その他の学生支援

積極的な海外派遣支援

共同研究、寄附金等の外部資金や各種競争的資金、支援財団による助成事業等により、学生が海外の国際学会等において論文(研究)発表するための費用(渡航費、滞在費、海外旅行保険費等)に対する助成や、英語研修や研究活動のために海外の機関への派遣を行っています。(2019年度海外派遣人数:302人)

学生なんでも相談

本学は、学生のキャンパスライフが快適であることを願っています。しかし、様々な問題や悩みに直面することがあると思います。本学でそういった学生を支援するため、相談員を配置し、「学生なんでも相談」窓口を設けています。

相談員が、問題解決へのアドバイスのほか、相談内容によっては、適切な相談窓口を紹介しています。

学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災)・学研災付帯賠償責任保険(略称:付帯賠償)

学研災は、学生が正課中、学校行事中、課外活動中、キャンパス内の休憩中及び通学中や学外実習等の移動中に被った不慮の災害事故に対する救済措置として全国の国・公・私立大学等の学生を対象とした傷害保険です。

また、付帯賠償は、学生が正課中、学校行事、課外活動及びその往復中で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険です。

<保険料>

博士前期課程 2,430円

(学研災 1,750円、付帯賠償 680円)

博士後期課程 3,620円

(学研災 2,600円、付帯賠償 1,020円)

1DAYスケジュール
宿舎編

博士前期課程
機能有機化学研究室
藤田 隆一さん

研究室まで数分で行くことができ、実験時間や自分の時間が増えるので、学生宿舎を選びました。気楽でいいのですが、集合住宅なので、やはり騒音などで隣室や階下に迷惑をかけないよう気をつけています。研究に没頭するにはリフレッシュが必要で、一日の研究が終わり、部屋に帰って入浴などを済ませると、テレビや映画を見てリラックス。そんな時間を大切にしています。休日は掃除をしたり、友人と外出したり。ラーメンを食べに行くのも気持ちが満たされる時間です。

1DAYスケジュール
通学編

博士前期課程
数理情報学研究室
池田 聖華さん

自宅は奈良県内ですが、電車など1時間強かけて通学しています。電車の中では音楽を聴いたり、読書したり。研究が繁忙な時はパソコンなどで作業をすることもあります。自分の好きなことを研究しているので、進展があったときも、うまくいかないときも充実感があります。「よく食べ、よく寝て、よく笑う」を大切にしてい、研究の合間に同期と映画を見たり、食事をしたりしている時間がホッとします。研究の発表が控えている時は休日返上で準備をすることもあります。

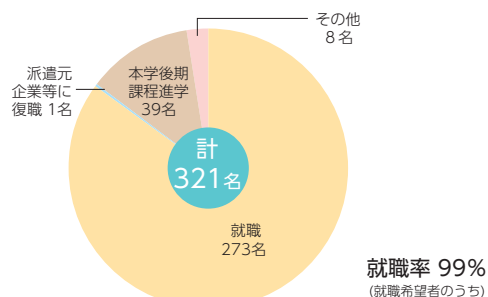
※このページに掲載している学生の所属等は撮影当時のものです。

修了後の進路及び就職状況

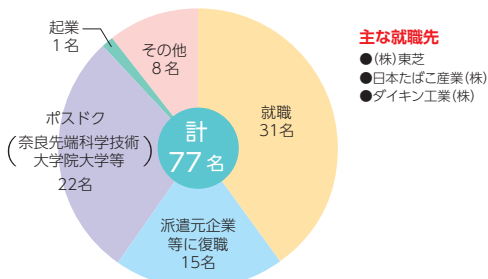
優秀な修了生たちが、幅広い分野の企業や大学で活躍中

※2020年4月1日現在

2019年度博士前期課程修了者 全体

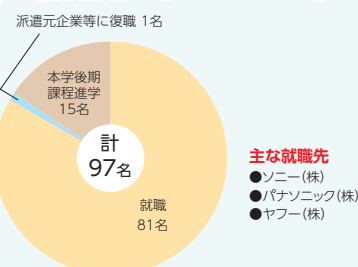


2019年度博士後期課程修了者 全体

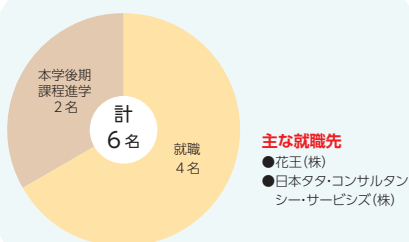


※先端科学技術研究科短期修了者含む

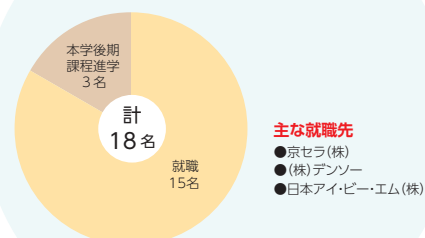
【情報理工学プログラム】



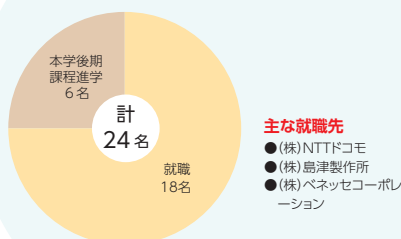
【情報生命科学プログラム】



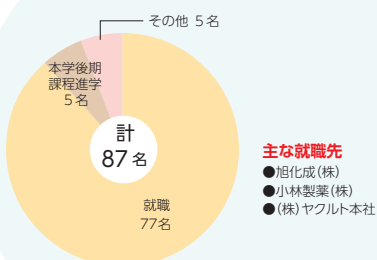
【知能社会創成科学プログラム】



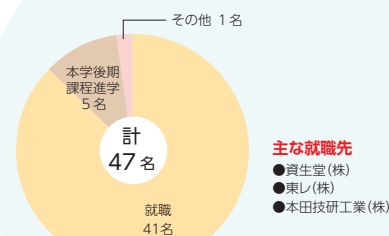
【データサイエンスプログラム】



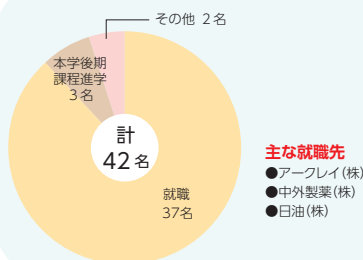
【バイオサイエンスプログラム】



【物質理工学プログラム】



【バイオナノ理工学プログラム】



就職ガイダンス

大学院修了後に民間企業への就職を希望する学生を対象とした就職ガイダンスを実施しています。ガイダンスの内容は、就職活動の進め方、業界・企業研究講座、履歴書・エントリーシート作成講座（自己PR、志望動機）、面接対策講座など、就職活動のタイミングに合わせてタイムリーに実施しています。

併せて、筆記試験（webテスト）やエントリーシート添削講座、模擬面接、公務員ガイダンスなど、多岐にわたる実践的な講座も実施しています。



キャリア相談《予約制》

キャリア支援室のUEA（University Education Administrator）と学外専門家をアドバイザーとして、学生の皆さんのキャリア相談を受け付けています。

アドバイザーには企業採用業務経験者もあり、就職活動の進め方から業界や企業の探し方、履歴書やエントリーシートの添削や面接練習など、きめ細かいアドバイスが受けられます。

1回30～45分でシステムから予約を受け付けています。



業界研究会・企業説明会

学生の就職活動の時期にあわせ、さまざまな「企業との接点の場づくり」を実施しています。

地域企業との出会いの場である「Career Forum」（12月）、博士後期課程学生・ポスドク向けの交流イベント「JOB FESTA」（12月）、「業界研究会」（2月）、学内合同企業説明会（3月）、個別企業を招いての説明会など、年間でのべ230社ほどの企業と学生との接点となるイベントを開催しています。



キャリアアップセミナー

研究者としてのキャリアに必要な素養・見識を高めるため、企業やOB／OGとの接点となるイベント、ジョブサーチや英語論文の書き方の講座などを定期的に開催しています。

なかでも「トップセミナー」は、企業の取締役などと直接意見交換する場となっており、研究者としての視野の拡大や自身のキャリアビジョンの検討に役立ちます。

また、学生が企業を訪問し、企業の風土や研究に対する考えなどを直接学ぶ「企業見学会」も、適宜、案内しています。



留学生へのキャリア支援

留学生のキャリアに関するアドバイスを専任で行うUEA（University Education Administrator）と客員教員を配置し、英語による就職ガイダンスやキャリア相談などを行っています。

また、日系企業を目指す留学生向けの「日本語V」などの授業、企業体験プログラムや中期インターンシップ、OB／OG留学生との交流会、企業との交流会、起業家を目指す留学生のためのセッションを行っています。



海外での活躍を目指す学生への支援

外資系企業を目指す学生のための志願成セミナー、海外の企業や組織での研究インターンシップ、学外で行われている種々の海外インターン情報の共有など、グローバルに活躍を目指す学生のためのさまざまな支援を実施しています。

キャリア支援に関するサービス

- 企業研究や就職活動をサポートする図書の貸出
- インターンシップや求人情報データベース（キャリアタスクUCプレミアム）
- 博士後期課程学生・ポスドク求人情報システム
- 企業等で活躍するOB／OG情報の提供
- その他のサポート（各種情報の発信、履歴書用紙の配布等）

キャリア支援スケジュール（予定）

			4月	6月	8月	10月	12月	2月	4月		
MC (DC)	就職 支援	講座		スタート アップ セミナー		就活進め方 と業界研究	ES講座② (志望動機)	面接対策 (個人)	グループ ディスカッション		
		就活 対策		スタート アップ セミナー		ES講座① (自己PR)	グループ 模擬面接	公務員 対策	Reスタート 講座		
DC PD キャリア アップ セミナー	トップセミナー・ 企業訪問			トップセミナー	企業訪問（3～4社） （産学協働イノベーション人材育成協議会主催の企画に参画）				トップセミナー		
	講座・イベント			DC向け ジョブサーチ		同窓生 講演会		JOB FESTA	英語論文 作成講座		
	業界・企業 研究							業界 研究会	キャリア フォーラム	合同企業 説明会	
仕事理解・その他	中長期研究 インターンシップ		報告・説明会								
			産学協働イノベーション人材育成協議会による個別研究インターンシップ・日本人海外企業等研究インターンシップ応募								
	キャリア相談 (留学生含む)		随時実施								
			← 2月～6月は相談体制を強化 →								
留学生向け施策（英語）	就職 ガイダンス	春入学			就活の 進め方	自己 分析①	自己 分析②	求人情報 の探し方	キャリア ガイダンス	日本語 履歴書	面接 対策
		秋入学		就活の 進め方	自己 分析①	自己 分析②	求人情報 の探し方	キャリア ガイダンス	日本語 履歴書	面接 対策	
	就職系イベント 企業体験プログラム インターンシップ		説明会	1日企業体験プログラム				中期インターンシップ	報告会	企業との 交流会	起業情報 共有セッション
	日本語力向上		「日本語Ⅴ」などの授業								

企業人事担当者からのメッセージ

企業人事担当者①



小林 実央

京セラ株式会社
人材開発部

「つくりたい未来がある」

たった1つの電子部品でスタートした「京セラ」。創業時から多様な技術により事業の多角化を図ってきました。電子部品を中心に電子機器、情報通信、医療分野と事業領域を拡大し、全世界に7万5千名余を有する企業群となっています。そんな研究開発を支えるモットーは「次にやりたいことは、私たちには決してできないと人から言われたもの」、すなわち常識や既成技術に捉われず、誰にも負けない先端技術で製品を市場化しています。

京セラがそんな企業だからこそNAISTは、魅力あふれる大学院です。今、時代が求める最先

端の技術分野に対して、より深く、研究間の垣根を超え、学際的に学べることは、創造性や独創性を育む土壌には最適と考えます。また、多様な学生様がいる環境下のおかげか、入社してくれた先輩たちは、分野の異なる技術者と協力しながら「自分の考えるテクノロジー」を実用社会で具現化したいと、生き生きと力を発揮しています。

そんな若い皆さんと共に、これからも「つくりたい未来がある」と夢を描き、より豊かな社会を確かな技術で支えていきたいと考えています。NAISTの皆さん、一緒に夢をかなえましょう！

企業人事担当者②



姚 シュアン

ソニー株式会社
採用部

あなたと一緒にチャレンジし、次の感動をつくる

「技術の力を用いて人々の生活を豊かにしたい」という創業者の強い思いから生まれたソニー。その志や夢に共感したエンジニアが集まり、人の心を動かす様々なヒット作を生み出してきました。

「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」という存在意義のもと、エレクトロニクス事業だけではなく半導体やゲーム、映画、音楽、金融など多岐にわたる事業を展開する世界的な企業グループに成長しています。ダイバーシティを尊重し、新たにチャレンジすることは、グローバル企業としてのソニーのDNAであ

り、イノベーションの源泉です。

このようなダイバーシティな環境及びチャレンジ精神は、奈良先端科学技術大学院大学様（NAIST）の研究環境や理念と共通していると思っております。実際ソニーでは、様々なバックグラウンドを持つ多くのNAISTのOB・OGが、幅広い分野で活躍しています。みなさんもNAISTで最先端の技術・知識を学ぶことで、「人がやらないことをやる」というチャレンジ精神の持ち主になっていただき、いつかソニーで次の感動を共に作っていただけることを、楽しみにしております。

企業人事担当者③



塚本 恒星

ロート製薬株式会社
開発企画推進部
グローバル人材育成チーム

挑戦する精神は社会で必ず役に立つ

ロート製薬は「Never Say Never」をコーポレートスローガンとしています。これは、世の中を健康にするために自分の進むべき道を見据え、どんな困難にもめげず、常識の枠を超えてチャレンジし続けることを意味します。

ロート製薬はもともと胃薬と目薬の会社でしたが、これまで様々なことにチャレンジしてきた結果、化粧品や機能性食品、レストラン経営、農業、畜産、再生医療と幅広い事業領域へと拡大してきました。これもすべては新しいことに絶えず挑戦し続けてきた結果だと考えています。

奈良先端科学技術大学院大学（以下、NAIST）では、最先端の科学技術を学んだ学生さんが多数いらっしゃいます。ロート製薬でもNAISTのOB、OGの方が研究開発の分野で活躍しており、近年では外国籍の方にもご入社いただいています。きっと、NAISTで様々なことに挑戦する精神を育まれてきたのではないのでしょうか。

今後もNAISTから多くの学生さんが入社し、ロート製薬でご活躍いただければと思います。一緒に新しいことに挑戦しましょう。

修了生からのメッセージ

修了生①



榎 惇志

デンソーアイティラボラトリ
研究開発グループ
2013年度 博士後期課程修了

NAISTで学んだ研究者としての心構えは今でも自分にとって大きな指針になっています

私は博士課程後期からNAISTに進学したので、研究テーマと指導教員を変えて外部進学することに決めたのは本当に正解だったのか、入学前は少なからず不安がありました。しかし入学してすぐにその不安は杞憂だったことに気付きました。NAISTは多様な学生が進学することもある、大学の制度も先生方の対応も、多様なバックグラウンドを持つ学生に対してのケアが十二分にされていました。NAISTでの3年間は、専門知識や最先端技術、英語語学力、論理的思考力を培うことができただけでなく、卒業後に必要となる「個として独立した研究者」となるうえで重要な心構

えについてもたくさん教えて頂きました。「君も研究者になるなら」といって、研究について、教育について、学術コミュニティについて、プロの視点からさまざまなことを教えて頂きました。前職の東京工業大学助教時代の5年間と現職に就いてから2年間、自分の軸を持ちつつ精一杯頑張ってきたのはNAISTで学んだたくさんのことのおかげだと思っています。自分のように博士課程後期から進学する方にとってもNAISTはとても魅力的な環境となることは間違いないと、強くお勧めします。

修了生②



伊波 幸紀

琉球大学大学院
医学研究科薬理学講座 助教
2016年度 博士前期課程修了

「研究者としてのスキルを培うことができる大学」

大学院への進学に悩んでいた時、担当教員より“研究環境が整っている”とのことで紹介されたのが私と奈良先端大の出会いでした。研究室への配属後は、環境に慣れるか・実験についていけるか不安でしたが、その不安は一瞬で払拭されました。最初は基礎的な実験手法のトレーニング、その後、各自研究テーマに沿って動物実験等を教授や先輩方より手厚くご指導頂きました。他にも論文査読や実験結果のディスカッションを2年間続けたことで、研究者としてのスキルを培うことができました。

私は博士前期課程を修了後、企業に勤めていましたが、2020年4月にアカデミアに戻るようになりました。数年研究から離れていたため、実験を行うことに不安がありましたが、奈良先端大の濃い2年間で培ったスキルのおかげで、現在、楽しく研究に没頭しております。

奈良先端大で培うことのできるスキルは、就職やアカデミアで研究するにせよ皆さんにとって大きな糧となるので、是非、奈良先端大へ一歩踏み込まれて下さい。

修了生③



鈴木 望

名古屋大学大学院 工学研究科
有機・高分子化学専攻
特任助教
2015年度 博士後期課程修了

あなたの研究を一からスタート それができるのが奈良先端大です

私が奈良先端大へ進学したのは、出身大学が学部教育に注力している私立大学で、大学院ではより研究環境の整った大学で学びたいと考えたためでした。奈良先端大は著名な教授が在籍しており、研究設備も整っている上、学部がないことから研究や交友関係を一からスタートできる点が魅力的でした。実際に奈良先端大では、研究室内外の先生方や先輩学生と議論をする機会が豊富にあり、自身の課題発見能力や問題解決能力を高められました。また、最初の一年間の講義を通して現在も付き合いの続く多くの学友も得ることができました。

また、奈良先端大で博士後期課程に進学すれば海外留学プログラムに参加できる点も魅力の一つでした。私は在学中、米国カリフォルニア大学デービス校での一ヶ月間の語学研修、及びミシガン大学での六ヶ月間の研究留学をする機会を得ました。この経験を通して視野が広がり、海外の研究者とのやりとりを円滑にするコミュニケーションスキルが身につく、現在でも自身の強みになっています。

皆さんも奈良先端大の素晴らしい環境に飛び込んで自らの糧となるものを育てて下さい。

国際交流

本学は、国際社会に貢献する人材を育成し、世界最高水準の研究成果を社会に提供する文化学術の卓越的中心をめざしています。積極的な国際交流により、教育研究のグローバル化を推進しています。

グローバルキャンパスの実現

本学では、グローバルリーダー育成のため、教育環境のグローバル化及びグローバル化教育に積極的に取り組んでいます。戦略的に留学生を受け入れ、2021年1月1日現在では、272人、34か国・地域の学生が在籍しています。多様な出身国や文化的背景を持つ学生及び教職員が共に学び、研究するグローバルキャンパスを実現するとともに、海外の教育研究機関との教育研究連携ネットワークの構築を進め、国際的な頭脳循環のハブとなることをめざしています。

グローバルキャンパスイベント NAIST Tea Time

キャンパス内の国籍などを越えたコミュニケーションの輪を広げるためにグローバルキャンパスイベントとして「NAIST Tea Time」を実施しています。このイベントでは、NAISTの学生・研究者・教職員が自国の代表的なお菓子を紹介し参加者に振る舞い、文化、歴史、趣味等に関する発表を通して多国籍間の相互理解を深める機会を提供しています。また、書道などの文化体験の機会もあり、国籍や所属の違いを越えて交流を深めています。



国際交流懇話会

本学の外国人留学生・外国人研究者と学長、理事、教職員、学生及び学外の交際交流団体関係者等が交流を深めることを目的として 1995 年度より毎年、「国際交流懇話会」を実施しています。留学生や外国人研究者の家族等も含め、300 名近くの参加者があり、例年、留学生が民族衣装を身にまとい、母国の歌や踊りを披露するなど、多様な国の学生が国際交流を深めています。



海外留学支援制度

本学では、本学と学術交流協定を締結している海外の大学や研究機関を中心に1か月から数か月の期間、日本人学生が海外の大学や研究機関に留学してインターンシップや共同研究に参加するプログラムを提供しており、多くの日本人学生が海外留学しています。また、文部科学省が主催している「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」に本学の学生から採択実績があり、希望者には本プログラムを通じて留学した在学生による個別相談対応を行っています。

学術交流協定の締結

本学では、海外の教育研究機関と、共同研究、共同シンポジウム、講義の実施、学術情報及び学術資料の交換並びに教職員及び大学院学生の交流を行っています。これらの交流を促進するため、学術交流協定の締結を積極的に進めています。

協定は相手大学等と事前の協議を重ねて締結されており、現在、大学間協定は25ヵ国/地域・77件、部局間交流協定が19ヵ国/地域・40件締結されています。

【全 学】

●光州科学技術院
●ハンバット大学
●浦項工科大学
●中国科学院 遺伝学発生生物学研究所
●天津理工大学
●遼寧大学
●蘇州大学
●東北師範大学
●国立交通大学
●国立台湾科技大学
●国立成功大学
●ベトナム国家大学 ハノイ自然科学大学
●ベトナム国家大学 ハノイ工業技術大学
●フエ大学科学大学校
●ハノイ科学技術大学
●郵政電信工芸学院ホーチミン市校
●ベトナム国家大学ホーチミン市校情報工科大学
●マヒドン大学
●チュラロンコン大学
●カセサート大学
●チェンマイ大学
●モンクット王工科大学トンブリ校
●マレーシアサイエンス大学
●マラヤ大学
●マレーシア工科大学
●トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学
●マレーシア国民大学
●アテネオデマニラ大学
●フィリピン大学ディリマン校
●ガジャマダ大学
●ポゴール農科大学

●インドネシア大学
●ハサヌディン大学
●パドボン工科大学
●ジェンダル・ソーデルマン大学
●KIIITエンジニアリング・カレッジ
●インド工科大学ボンベイ校
●インド工科大学ジョードプル校
●バングラデシュ工科大学
●エディンバラ大学
●ルーバン・カトリック大学
●ポールサバチエ大学
●エディンバラ大学
●エコールノルマル・シュベリウール・パリサクレ校
●リール第一大学
●ギュスターヴ・エッフェル大学
●テレコムパリ
●ソルボンヌ大学
●パリサクレ大学
●レンヌ第一大学
●ESIGELEC工学技術高等学院
●リヨン高等師範学校
●ピカルディ・ジュール・ヴェルヌ大学
●ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ大学
●アーヘン工科大学
●ユストゥス・リービヒ大学ギーゼン
●カールスルーエ工科大学
●レーゲンスブルク大学
●コーブルク大学
●カリアリ大学
●トレント大学
●グラナダ大学
●サンクトペテルブルク工科大学

●聖パウロ使徒情報科学技術大学
●クイーンズ大学キングストン校
●カリフォルニア大学デービス校
●ハワイ大学マノア校
●カリフォルニア大学サンディエゴ校
●ミシシッピ州立大学
●サンパウロ連邦大学
●シェイク・アンタ・ジョップ大学
●ナイロビ大学
●シドニー工科大学
●マッコーリー大学
●ニューカッスル大学
●アデレード大学
●ユニテック工科大学

【先端科学技術研究科】

《情報科学領域》

●韓国科学技術院 文化技術研究科/産業デザイン工学科
●慶北大学校 エレクトロニクス工学研究科
●香港城市大学 コンピューターサイエンス学科
●雲南大学 情報工学科
●ベトナム科学技術院 情報技術研究所
●ベトナム国家大学ホーチミン市科学大学電子通信学部
●国立ダナン大学科学技術大学電子通信学部
●セプルノベンル工科大学工業技術研究科
●ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン 数理科学研究科
●テレコムスードパリ国立電気通信大学院大学
●パリ電子工科大学技術高等学院
●カーン国立工学技術高等学院
●ウルム大学 工学/コンピューターサイエンス学部
●ミュンヘン工科大学 インフォマティクス学部
●ミュンヘン工科大学 電気・コンピュータ工学部

●ハインリッヒ・ハイン大学デュッセルドルフ 数学・自然科学部
●オウル大学 理学部 情報処理科学科
●トゥルク大学 医学部
●サンパウロ大学 核エネルギー農業センター
●サンパウロ大学 農学部ルイスデケイロス校
●サンパウロ大学 数学統計研究所

《バイオサイエンス領域》

●南京農業大学 生命科学研究所
●南京大学 生命科学研究所
●ベトナム科学技術院 バイオテクノロジー研究所
●テマセク生命科学研究所
●ノース・サウス大学 ヘルス・ライフサイエンス研究科
●ブリティッシュコロンビア大学 理学部
●ミネソタ大学 バイオテクノロジー研究所

《物質創成科学領域》

●南京大学 化学工学科
●国立陽明大学生医光電研究所
●ベトナム科学技術院 物質科学研究所
●南洋理工大学 物質科学工学部
●インド自然科学教育研究大学 トリバンダム校
●ライデン大学 理学部
●デルフト工科大学・電子数理情報工学部
●ラインマイン応用科学大学 工学部
●チューリヒ大学 理学部
●グラーツ工科大学 固体物理学研究所
●デブレチン大学 物理学研究科
●ミシガン大学 工学部

学術交流協定締結状況（2021年1月31日現在）

留学生

国・地域 区 分		アジア											アフリカ								ヨーロッパ					中南米					合 計				
		中 国	マ レ ー シ ア	タ イ ランド	ネ シ ア	フィ リ ピ ン	ベ ト ナ ム	韓 国	パ ン グ ラ デ シ ュ	台 湾	ネ パ ー ル	パ キ ス タ ン	アフ ガ ニ ス タ ン	モン ゴ ル	エ チ オ ピ ア	ケ ニ ヤ	セ ネ ガ ル	コ ー ト ジ ボ ワ ール	ウ ガ ン ダ	ガ ン ビ ア	タン ザ ニ ア	モ ー リ シ ヤ ス	モ ザ ン ビ ーク	ブル キ ナ ファ ン	ド ミ ニ カ ン	フ ラ ン ス	ロ シ ヤ	イ タ リ ヤ	ス ロ ベ ニ ア	ブ ル ガ リ ヤ		メ キシ コ	エ ク アド ル	コ ロン ビア	グ ア テ マ ラ
国費外国人留学生	博士前期課程 (うち女性)	1 (1)	1 (4)	6	1	1	1				1	1 (1)		1				1					1				1					1	1	19 (6)	
	博士後期課程 (うち女性)	11 (2)	25 (14)	10 (1)	9 (7)	12 (3)	5 (2)		1					1 (1)	1		1			1 (1)				1	2			1 (1)	1	1	1	1		84 (32)	
	研 究 生 (うち女性)	2 (2)	3 (3)		1	1															1													8 (5)	
私費外国人留学生	博士前期課程 (うち女性)	34 (6)	2 (1)	8 (2)	5 (1)		2	4 (1)		1	1															1 (1)								58 (12)	
	博士後期課程 (うち女性)	30 (12)	7 (5)	8 (7)	9 (6)	8 (4)	9 (5)	2	3 (1)	3	1		1 (1)	1 (1)			1 (1)			1 (1)			1	2 (1)	2 (1)								88 (45)		
	研 究 生 (うち女性)	5 (1)																								1								6 (1)	
	特別研究学生 (うち女性)														2										1		1							4	
	計 (うち女性)	83 (23)	38 (24)	32 (14)	25 (14)	22 (7)	17 (7)	6 (1)	4 (1)	4	2	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2	1 (1)	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1	1	1	3 (1)	3 (1)	3	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1	1	1	1	267 (101)

国費外国人留学生 111名 (先端 111人)
私費外国人留学生 156名 (情報 2人 バイオ 7人 物質 1人 先端 146人)

※赤字は女性を内数で示す。(2021年1月1日現在)

入学者選抜試験 (2022年度入学)

大学や高専、企業から、研究への高い志を持つ学生を募集中

※新型コロナウイルス感染症の状況により、入試実施方法、日程等が変更になる可能性があります。
最新の情報は本学HPにてお知らせしますので、随時ご確認ください。

入試実施方法 [博士前期課程]

入試試験区分共通

- ・試験は、面接により下記のとおり1人20分程度日本語又は英語(入学願書にて受験言語を選択)により行います。
- ・春学期第1回及び春学期第2回選抜試験については、面接の形式(受験場所)を、次の3つのうちから選択することができます。
[オンライン形式]／本学会場での対面形式／どちらでも可
ただし、本学会場での受験には教室スペース等に制約があるため、受験する場所の希望については出願状況により意に添えない場合がありますので、希望者全員が本学会場で受験できるとは限りません。
- ・オンライン形式で受験しても、本学会場で受験しても、実施内容、採点・評価基準及び可否判定基準に差異はありません。

※ウェブ会議システムWebexを使用した遠隔によるもの。

情報科学区分

- ①数学(代数、解析等)に関する口頭試問。
- ②提出された小論文及び出身専攻分野を考慮した情報科学関連の質問。
[数学出題範囲]
代数: 下記の Chapter 1 からChapter 7 まで。
Gilbert Strang, Introduction to Linear Algebra, Fourth Edition, Wellesley-Cambridge Press
日本語訳: G. ストラング, 線形代数イントロダクション, 原書第4版, 近代科学社(なお、英語原書のFifth Editionでは、Chapter 1からChapter 8まで。)
解析: 下記の 全範囲。
Serge Lang, A First Course in Calculus, Springer 日本語訳: S. ラング, 解析入門, 岩波書店

バイオサイエンス区分

- ①提出された小論文等に基づく3分程度の口述発表。
- ②提出された小論文に基づく、これまでの研究内容や興味のある分野についての口頭試問。小論文に記載された、当該分野の基礎知識や理解度、説明能力などを問います。
- ③提出された小論文に基づく、本学において取り組みたい研究についての口頭試問。
[バイオサイエンス出題範囲]
本学入学後に研究したいバイオサイエンスの研究分野の基礎知識、研究内容について質問します。

物質創成科学区分

- ①提出された小論文に基づく5分間の口述発表。
- ②小論文及び発表に基づく出身専攻分野を考慮した物質科学関連の15分程度の口頭試問。
[物質創成科学出題範囲]
出身専攻分野を考慮した物質科学関連の基礎知識を問います。

入試日程

博士前期課程	【試験回】	【出願期間】	【選抜期日】	【合格発表】	【入学手続】
先端科学技術研究科	高専推薦選抜	2021.4.12(月)～ 2021.4.16(金)	2021.6.7(月)～ 2021.6.9(水)	2021.7.19(月)	2022.2下旬 (秋学期入学者は2021.9下旬)
	2022年春学期第1回 (2021年秋季学期第2回)	2021.6.7(月)～ 2021.6.9(水)	2021.7.5(月)～ 2021.7.10(土)	2021.7.19(月)	
	2022年春学期第2回	2021.9.13(月)～ 2021.9.15(水)	2021.10.12(火)～ 2021.10.14(木)	2021.10.20(水)	
	2022年春学期第3回 (2022年秋季学期第1回)	2022.2.7(月)～ 2022.2.9(水)	2022.3.9(水)	2022.3.14(月)	2022.3下旬 (秋学期入学者は2022.9下旬)

※飛び入学による受験者については、上記合格発表日に仮合格として発表し、後日、所定の手続きを経た上、あらためて合格者として発表します。詳しくは学生募集要項を確認してください。
※高専推薦選抜については、出願期間を適性審査書類提出期間、選抜期日を出願期間に読みかえてください。

博士後期課程	【試験回】	【出願期間】	【選抜期日】	【合格発表】	【入学手続】
先端科学技術研究科	2022年春学期第1回 (2021年秋季学期第2回)	2021.7.26(月)～ 2021.7.28(水)	2021.8.23(月)～ 2021.8.26(木)	2021.8.31(火)	2022.2下旬 (秋学期入学者は2021.9下旬)
	2022年春学期第2回 (2022年秋季学期第1回)	2022.1.24(月)～ 2022.1.26(水)	2022.2.21(月)～ 2022.2.22(火)	2022.2.28(月)	2022.3下旬 (秋学期入学者は2022.9下旬)

- 試験は主に面接により行います。
- 博士前期課程は1年間に3回入試を行います。
- 秋学期入学の入試も実施します。

詳細は本学ホームページの『入試情報』をご覧ください。



※募集要項や願書をダウンロードしていただけます。『よくある質問 (FAQ)』等の情報もご活用ください。

<https://www.naist.jp/admission/exam/>

入学状況

課程	試験区分	年度	入学定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学者のうち		
								社会人	他分野※	飛び入学
博士前期課程	情報科学区分	2018年度	—	374	353	166	138	4	70	0
		2019年度	—	398	378	192	150	11	68	1
		2020年度	—	385	357	181	149	11	39	0
	バイオサイエンス区分	2018年度	—	206	200	164	131	1	15	0
		2019年度	—	195	183	148	109	4	17	0
		2020年度	—	185	177	159	109	2	23	0
	物質創成科学区分	2018年度	—	255	244	140	95	0	19	0
		2019年度	—	242	231	146	95	2	27	1
		2020年度	—	242	223	138	89	3	32	0
博士後期課程	情報科学区分	2018年度	—	49	48	48	44	9	10	—
		2019年度	—	59	58	55	50	6	5	—
		2020年度	—	62	61	58	56	13	10	—
	バイオサイエンス区分	2018年度	—	28	27	27	27	3	1	—
		2019年度	—	31	31	31	28	4	0	—
		2020年度	—	40	40	39	37	5	3	—
	物質創成科学区分	2018年度	—	31	31	31	29	6	2	—
		2019年度	—	42	41	41	40	9	5	—
		2020年度	—	33	32	32	31	9	2	—

秋学期入学者を含みます。 ※：文系出身者等を指しています。

2020年度博士前期課程の試験回別入試結果

	情報科学区分				バイオサイエンス区分				物質創成科学区分			
	【第1回】	【第2回】	【第3回】	【留学生特別推薦選抜】	【第1回】	【第2回】	【第3回】	【留学生特別推薦選抜】	【第1回】	【第2回】	【第3回】	【留学生特別推薦選抜】
出願者	230	73	33	0	127	48	8	0	151	73	12	0
受験者	220	62	29	0	126	45	4	0	147	64	6	0
合格者	118	25	11	0	114	41	3	0	90	39	3	0
入学者	93	21	11	0	74	31	3	0	50	32	3	0

秋学期入学者は含めていません。

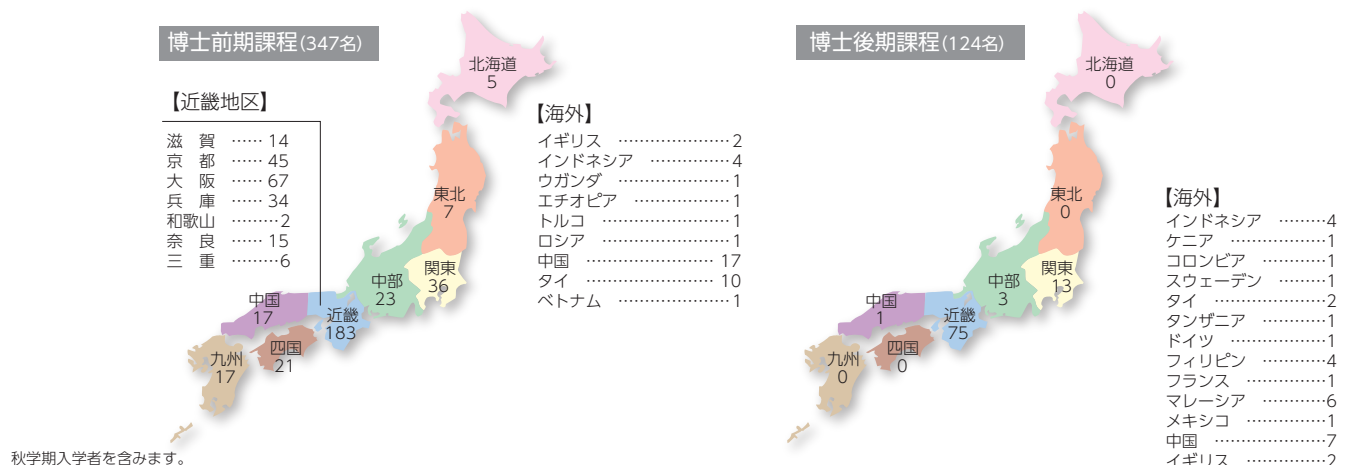
2021年度博士前期課程の試験回別入試結果

(2021年1月1日現在)

	情報科学区分			バイオサイエンス区分			物質創成科学区分		
	【第1回】	【第2回】	【第3回】	【第1回】	【第2回】	【第3回】	【第1回】	【第2回】	【第3回】
出願者	249	91	—	90	35	—	131	55	—
受験者	238	87	—	87	31	—	127	51	—
合格者	130	27	—	85	30	—	96	36	—

第3回入学者選抜試験は2021年1月1日現在において未実施。

2020年度入学者の出身大学・大学院等の所在地



秋学期入学者を含みます。

INFORMATION

● ホームページの入試Q&A コーナー等で、入試に役立つ情報が多数掲載されていますので、ぜひ一度ご覧ください。

キャンパスマップ

関西文化学術研究都市にふさわしく、最先端の施設を完備



■スポーツ施設

グラウンド



テニスコート



バスケットボールコート



高山サイエンスタウン駐車場 定期駐車券【本学学生】

1ヶ月	1,500円	3ヶ月	4,000円
6ヶ月	7,500円		

※申込みは、大学会館売店（コンビニエンスストア）、
本学支援財団事務所（高山サイエンスプラザ内）にて。
※定期駐車券は、駐車スペースの確保を約束するものではありません。

ミレニアムホール⑤



入学式や学位記授与式、会議、講演などを行うことができる多目的のホールです。

- ①事務局
- ②附属図書館（電子図書館）
- ③大学会館・コンビニエンスストア・保健管理センター
- ④学際融合領域研究棟2号館
- ⑤ミレニアムホール
- ⑥ゲストハウスせんたん
- ⑦情報科学棟
データ駆動型サイエンス創造センター
総合情報基盤センター
- ⑧バイオサイエンス棟
遺伝子教育研究センター
デジタルグリーンイノベーションセンター
- ⑨動物飼育実験施設
- ⑩植物温室
- ⑪物質創成科学棟
物質科学教育研究センター
- ⑫パイオナノプロセス実験施設
- ⑬学際融合領域研究棟1号館
- ⑭学生宿舎
- ⑮職員宿舎
- ⑯事務局別館

福利厚生施設

■大学会館③

学生及び教職員の厚生施設である大学会館に、食堂（300席）、喫茶室（30席）、多目的スペース（イートインスペース、ラウンジ、ベビールーム）を設けています。宅配ロッカーも設置されており、24時間受け取りが可能です。

大学会館（食堂）



■コンビニエンスストア④

食品、飲料、文具、日常生活雑貨、切手類、大学グッズ等を販売するほか、公共料金支払い、宅配便（ヤマト運輸）の発送・受取、クリーニングの取次ぎを行っています。

●営業時間
月～金曜日／8:00～21:00
土曜日・日曜日・祝日／9:00～17:00

コンビニエンスストア（ディリーヤマザキ）



■ゲストハウスせんたん⑥

本学を来訪する国内外からの研究者をはじめ、学生や教職員も利用することのできる福利厚生施設です。宿泊施設は手頃な料金で利用することができ、受験時の宿泊にも利用できます。施設内には宿泊者などが利用できる集会室やフィットネス室が設けられています。利用申し込みは、人事課福利厚生係（0743-72-5033）までお問い合わせください。

ゲストハウスせんたん



■保健管理センター③

学生及び教職員の身体的、精神的健康の保持・増進をはかることを目的としています。内科医師及び看護師が常駐しており、定期健康診断、応急処置、健康相談、カウンセリング等を行っています。また、センターには、診察室、談話室、休養室を設けています。

保健管理センター



リエゾンオフィス

本学では、東京・田町にリエゾンオフィスを開設し、首都圏との産官学連携を有機的に進めるために活用しています。さらに、地域との連携を深めるために、中小企業の街・東大阪市にもリエゾンオフィスを設置しています。



東京事務所



東大阪事務所

高山サイエンスプラザ

大学の隣接地に、本学の支援財団が運営する高山サイエンスプラザがあり、その施設内にもレストラン、研修室等が設けられています。

奈良先端科学技術大学院大学支援財団 (高山サイエンスプラザ内)

奈良先端科学技術大学院大学の優れた特性や機能が最大限に発揮されるよう、その教育研究活動を積極的に支援するとともに、大学院大学と産業界、地方公共団体等との交流などを促進することにより、先端科学技術分野の研究開発等を担う研究者、技術者等の育成及び研究開発基盤の充実に寄与し、我が国の科学技術の発展に貢献することを目的として、1991年に設立されました。同財団の基本財産（20億円）の運用益により、教育研究活動、国際交流活動、学術研究成果の普及活動に対する支援事業等が行われています。



高山サイエンスプラザ

産官学連携

本学は、開学当初から社会に開かれた大学として、社会人教育の実施、共同研究・受託研究の受入れ、産官学連携プロジェクトの構築等、産官学連携を積極的に推進しています。

こうした取組みの成果として、本学の外部資金の獲得は年間約27.6億円（過去5年平均）となり、教員1人当たりでは約1382万円、またライセンス収入においても年間約1509万円（過去5年平均）となり、教員1人当たりでは約7.5万円と全国の大学でも高い水準を維持しています。

民間企業等と本学教員の共同研究も盛んに実施されており、学生もこうした研究に携わることで、民間企業や市場が抱える問題意識への理解も深まり、幅広い視野を身につけることが可能です。

また、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業（2017年度～）」（「グローバルアントレプレナー育成促進事業（2014～2016年度）」）の採択機関として、「製品やサービス全体の設計と実現」や「国際的な視野での起業・事業創出」を先導できる優秀なアントレプレナー人材を育成するため、実践的な企業家教育プログラムを提供しています。

2004年に設置された、産官学連携推進本部（現：産官学連携推進部門）には、知的財産管理等に精通した産官学連携推進部門のスタッフが在籍しており、研究によって生まれた発明について、知的財産の管理や活用等についてのサポートを行っています。



情報科学領域
ロボティクス研究室
[A framework for quickly
deploying image recognition AI]



情報科学領域
光メディアインタフェース研究室
[a practical device for
imaging blood vessels in
human skin in real-time
with excellent contrast
visibility]



物質創成科学領域
光機能素子科学研究室
[Portable Agri-Microimager]

2020年1月に米国ラスベガスにて開催された、世界最大級の展示会であるCES2020に、本学から以下のシーズを出展し、国内外からの多数の来場者に向けて、本学の研究力をアピールしました。このような出展イベントにおいても、学生が活躍しています。

同窓会

国内外の大学、研究機関、企業等で活躍している本学の修了生が同窓会を組織しており、親睦を深める様々な支援事業を通して、在学生、修了生を支援しています。

◎支援事業

- ・同窓会ホームページやメーリングリストにて各種案内や告知の発信
- ・在学生・修了生の交流イベント
- ・修了生による講演会
- ・在学生向けの就職支援事業（同窓会正会員は優遇される場合があります）
- ・各種表彰
- ・同窓会集会に対する開催支援金の支給
- ・同窓会システムで、修了生（企業に就職したOB・OG等）検索機能の提供

◎正会員の永年会費

¥20,000

※修了後も、追加費用は一生必要ありません。



キャンパス周辺エリアMAP

① 高山竹林園



② 高山八幡宮



③ 学研北生駒駅



④ ペーカーリーレストラン サンマルク



⑤ スーパーヤオヒコ北大和店



⑥ 素盞鳴神社



⑦ 学研奈良登美ヶ丘駅



⑧ イオン奈良登美ヶ丘



⑨ ライフ学園前





18 高の原中央病院



17 高の原駅



16 イオン高の原



15 ゆららの湯



14 TSUTAYA



10 リコラス (クリニックモール)



11 松柏美術館



12 アピタタウンけいはんな (ショッピングモール)



13 国立国会図書館関西館

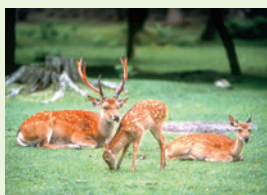


古都「奈良」で学ぶこと

1300年の歴史を誇る奈良にNAISTのキャンパスがあります。
研究がお休みの日には少し足を延ばしてならまちに訪れたり、
古社寺や伝統にふれながら、歴史ある奈良の土地を存分に楽しんでみてはいかがでしょうか。

自然

自然豊かな奈良は季節ごとにさまざまな風景で楽しませてくれます。
美しい名所へお出かけしてリラックスしてみてもいいかもしれません。

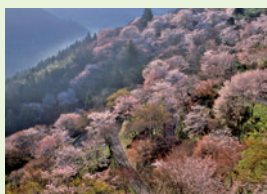


奈良公園の鹿

660haの広大な地域にまたがり、あらゆる場所で鹿の姿をみることができます。

吉野の桜

シロヤマザクラを中心に山全体が桜で埋め尽くされたような景色はまさに圧巻。



曽爾高原

一面ススキで覆われた草原。秋には穂が日差しで黄金色に輝き、見物客で賑わいます。

歴史

1300年以上も前の社寺が数多く佇む奈良。
世界遺産にふれることで、今までに感じる
ことができなかった歴史や奈良の魅力を再
発見できるかもしれません。



春日大社

朱塗りの社殿や、境内にある約3000基もの燈籠が立ち並びさまは荘厳な美しさ。



興福寺

高さ約50mの五重塔をはじめ、国宝館に安置されている阿修羅像など仏像の数々は必見。

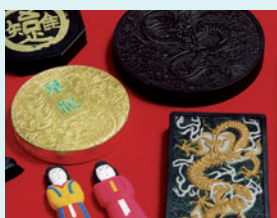
薬師寺

1300年前から現存する東塔や薬師三尊像、よみがえった大伽藍に心が癒されるはず。



伝統・文化

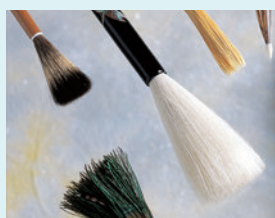
脈々と受け継がれてきた職人の技術。その技術や伝統、文化は今もなお奈良の地で輝いています。そんな技術がふんだんに使われた奈良の逸品たちをぜひ肌で感じてみてください。



奈良墨

空海が唐から造墨法を持ち帰ったことにより奈良での墨の製造が行われました。

写真提供：墨運堂



奈良筆

穂先の仕上がりに絶妙な味がある「練り混ぜ法」という技法を用いた高級毛筆です。

写真提供：株式会社あかしや



高山茶釜

室町時代より約500年の歴史を持ち、長年継承されてきた伝統の技は国内外から評価されています。

写真提供：竹茗堂 左文

「自然」・「歴史」 使用写真

写真提供：一般財団法人 奈良県ビジネスマネジメントセンター

The map illustrates the transportation network around the Nara Institute of Science and Technology (NAIST) and Nara University of Education (NUED). Key features include:

- Major Roads:**
 - JR Keio Line (JR京都市線)
 - JR Nara Line (JR奈良線)
 - JR Yamanote Line (JR山手線)
 - JR Keio Line (JR京葉線)
 - JR Nara Line (JR奈良線)
 - JR Yamanote Line (JR山手線)
- Key Locations:**
 - NAIST (Nara Institute of Science and Technology)
 - NUED (Nara University of Education)
 - Nara Institute of Science and Technology (NAIST)
 - Nara University of Education (NUED)
- Other Landmarks:**
 - Nara Park (奈良公園)
 - Nara National Park (奈良国立公園)
 - Nara National Park (奈良国立公園)

大阪国際 空港(伊丹)	空港バス	上本町	近鉄奈良線	生 駒	近鉄けいはんな線	学 研 北 生 駒	徒 歩	奈良交通バス 高山サイエンスタウン行き 「奈良先端科学技術大学院大学」 下車すぐ	NAIST
	約35分		快速急行/約17分				約20分		
	南海線 特急うりぽとα	なんば	近鉄奈良線						
	約34分		快速急行/約20分						
	JR関空特急はるかJR大阪環状線	鶴 橋	近鉄奈良線						
関西国際 空港	約60分		快速急行/約15分						
	空港バス	上本町	近鉄奈良線						
	約51分		快速急行/約17分						
空港バス			学 園 前		奈良交通バス高山サイエンスタウン行き				
約1時間20分					約25分		「奈良先端科学技術大学院大学」下車すぐ		

From	Line	Station	Transfer Line	Transfer Station	Final Line	Final Station	Walking Time
新大阪 (New Osaka)	Osaka Metro御堂筋線	本町	Osaka Metro中央線 + 近鉄けいはんな線	学研北生駒	徒歩	約20分	
	約11分		約34分				
新大阪 (New Osaka)	JRおおさか東線	高井田中央・高井田	Osaka Metro中央線 + 近鉄けいはんな線	学研北生駒	奈良交通バス 高山サイエンスタウン行き	約8分	
	約22分		約23分		「奈良先端科学技術大学院大学」下車すぐ		
京都 (Kyoto)	近鉄京都線 急行	高の原	奈良交通バス 高山サイエンスタウン行き	学研北生駒	約25分		
	約38分				「奈良先端科学技術大学院大学」下車すぐ		

大阪方面から

阪奈道路

辻町

第二阪奈道路

壱分

168

北田原大橋

163

京都方面から

京奈和自動車道

山田川IC

24

大谷

163

163

NAIST

学生募集イベント

詳細は本学ホームページ (<https://www.naist.jp/admission/event/>) をご覧ください。



受験生のためのオープンキャンパス

本学では毎年、受験生を対象に学内施設を公開するオープンキャンパスを開催しています。研究室訪問や研究機器のデモンストレーションなどを通して、本学の最先端の教育・研究内容を知ることができます。(2021年度は2021年5月と2022年2月に開催予定)



5月のオープンキャンパスでは、博士前期課程第1回入試の出願を控えた受験生を対象に入試説明会を開催します。

オンライン学生募集説明会

本学では全国どこからでも参加できるオンライン学生募集説明会を実施しています。教員から研究内容、学生生活、入試のことなどについて説明いたします。スマホやパソコンなど、お手持ちのデバイスから気軽に参加できます。説明中でもチャット機能で質問でき、リアルタイムに回答が得られます。

オンライン学生募集説明会へのご参加には、事前登録が必要です。

【開催時期】

4月、5月、8月、9月、1月、2月（予定）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。



※上記の他、各領域において受験生向けイベントを開催しています。詳細はホームページをご覧ください。
<https://www.naist.jp/admission/event/other.html>





国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY

〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 奈良先端科学技術大学院大学 教育支援課 入試係
電話／0743(72)5083・5084 FAX／0743(72)5014
メールアドレス／exam@ad.naist.jp ホームページ／<https://www.naist.jp/>



website

<https://www.naist.jp/>



twitter

https://twitter.com/NAIST_MAIN



facebook

<https://www.facebook.com/naist.jp>



国立大学法人
奈良先端科学技術大学院大学
NARA INSTITUTE of SCIENCE and TECHNOLOGY



UD FONT
by MORISAWA

詳しくはWEBで

奈良先端大 

<https://www.naist.jp/>

